



株式会社 上組
CSR報告書
2015



(株)上組CSR報告書 2015

目次

会社概要/経営指標	1
トップメッセージ	2
経営理念/経営方針	3
企業行動憲章	3
上組が描く「デザイン物流」	4
CSRマネジメント	14
社会とのつながり	17
環境とのつながり	31

会社概要

商号	株式会社 上組 Kamigumi Co., Ltd	資本金	31,642百万円
本店	兵庫県神戸市中央区浜辺通4丁目1番11号	社員数〔連結〕	4,198人(2015年3月末日現在)
東京本社	東京都港区芝浦3丁目7番11号		〔単体〕 3,743人(2015年3月末日現在)
創業	1867年(慶応3年)	事業内容	国際複合一貫輸送、港湾運送、重量貨物運搬据付、プラント輸送、倉庫、通関、陸海空貨物取扱、海運代理店、貨物自動車運送などの各営業に附帯する一切の事業
設立	1947年(昭和22年)	ホームページ	http://www.kamigumi.co.jp
上場	東証一部		
代表者	代表取締役社長 深井 義博		

経営指標

	平成27年3月期		平成26年3月期	
	連結	単体	連結	単体
営業収益 (百万円)	242,861	223,697	237,871	216,740
経常利益 (百万円)	23,640	23,245	23,260	23,012
当期純利益 (百万円)	14,962	14,790	15,268	15,268
1株当たり当期純利益 (円)	58.15	57.49	59.22	59.22
総資産 (百万円)	353,865	346,398	339,838	332,238
純資産 (百万円)	297,969	295,160	286,339	283,684
1株当たり純資産額 (円)	1,166.39	1,155.59	1,110.40	1,100.27

トップメッセージ

お客様のニーズにお応えする、
時代の流れに即応した、
先進の物流サービスを提供します。

刻々と環境が変化する現代社会にあって、物流の改革が求められております。

当社は、陸・海・空の輸送モードを有機的に組み合わせた『複合一貫輸送』を基盤として、私たちのテーマである『上組デザイン物流』の実現を掲げ、サード・パーティー・ロジスティクス（3PL）、サプライチェーン・マネジメントなどの提案型サービスを構築し、様々なお客様のニーズにお応えしてまいりました。また、慶応3年の創業から培った物流ノウハウと、先進のIT技術を駆使し、高品質・高付加価値の物流サービスの提供に努めております。

近年では、加速するグローバル化に対応するため、積極的な海外進出やパートナーシップを通じた国際ネットワークの構築を推進するとともに、国内では様々な新規事業を模索し収益力の強化を目指しております。

当社はこれからも、時代のニーズに応じた先進の総合物流カンパニーとして、世界の最適物流を創造してまいります。何卒、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



(右)代表取締役会長 久保 昌三
(左)代表取締役社長 深井 義博

経営理念

常に時代の風を読み、
変化する社会の要請に即応しながら、一步先のテーマに取組み、
企業価値の向上と、経営の安定に努め、
ひいては豊かな社会の実現に貢献する

経営方針

物流を総合的にマネジメントできる企業として、
国内外のハード、ソフトの増強、人材の育成に努め、
グローバル企業としての価値を高めるとともに、
企業の社会的責任(GSR)を果たし、企業価値の更なる向上を図る

2015年 社長指針

- 一、気概を持って変革への挑戦
- 一、上組デザイン物流の拡大とグローバル戦略の更なる進化
- 一、法令順守と安全は企業の要

上組グループ企業行動憲章

法令順守体制の確立と公正・透明な企業活動を通じた持続的な成長によって豊かな社会の創造に貢献することを上組グループの社会的使命と捉え、これを実践していくためグループ社員共通の行動基準・方針として2007年11月に『上組グループ企業行動憲章』を策定しています。

企業行動憲章			
原		則	
1.	(お客様満足の向上) 創業以来培ったノウハウをフル活用した、独自の物流サービスを提供することで、顧客の満足と信頼を獲得するとともに、社会貢献を推進する。	6.	(地域社会への貢献) 良き企業市民として、積極的に社会貢献活動を行い、地域社会との調和・共存を図る。
2.	(公正かつ透明な事業活動) 事業活動については、公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行う。	7.	(反社会的勢力に対する対応) 市民社会の秩序や安全を保持することに努め、反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で対応する。
3.	(コミュニケーション活動) ステークホルダー(利害関係者)とのコミュニケーションを積極的に行い、適時、適切に情報開示を実行する。	8.	(国際社会との協調) 国際的な事業活動においては、国際ルールや現地の法律等を遵守し、現地の文化や習慣等を尊重した経営を行い、国際社会との協調および相互の信頼を図る。
4.	(明朗な企業風土づくりの推進) 人権を尊重し、企業の内外において、性別、信条、身体的条件、社会的身分などによる差別を一切行わず、働きやすい職場環境を確保し、ゆとりと働き甲斐を実現する。	9.	(本憲章の精神の徹底) グループ各社の経営者は本憲章の実現を自らの役割であることを認識し、率先して関連企業や取引先に周知させる。また、社内外の意見等を常時、把握し適宜見直しを行うことで、憲章の精神の更なる推進と実効ある社内体制の整備を図る。
5.	(環境経営の推進) 事業活動の全ての分野で、環境問題への取り組みについては、企業の存在と活動の必須の要件であることを認識し、環境保全に関する法令等の基準を遵守することはもとより、自主的、積極的に行動する。	10.	(経営者の責務) 本憲章に反するような事態が発生したときには、グループ各社の経営者自らが問題解決にあたる姿勢を内外に明らかにし、原因究明、再発防止に努めるとともに、社会への迅速かつ確かな情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にしたうえで自らを含めた厳正な処分を行う。

上組が描く「デザイン物流」

グローバルネットワークと
独創的なアイデアでお客様に
最適なソリューションを
ご提案いたします。

上組は社会市民の一員として、コンプライアンスの実践による健全な事業活動を通じ、社会への貢献を果たします。

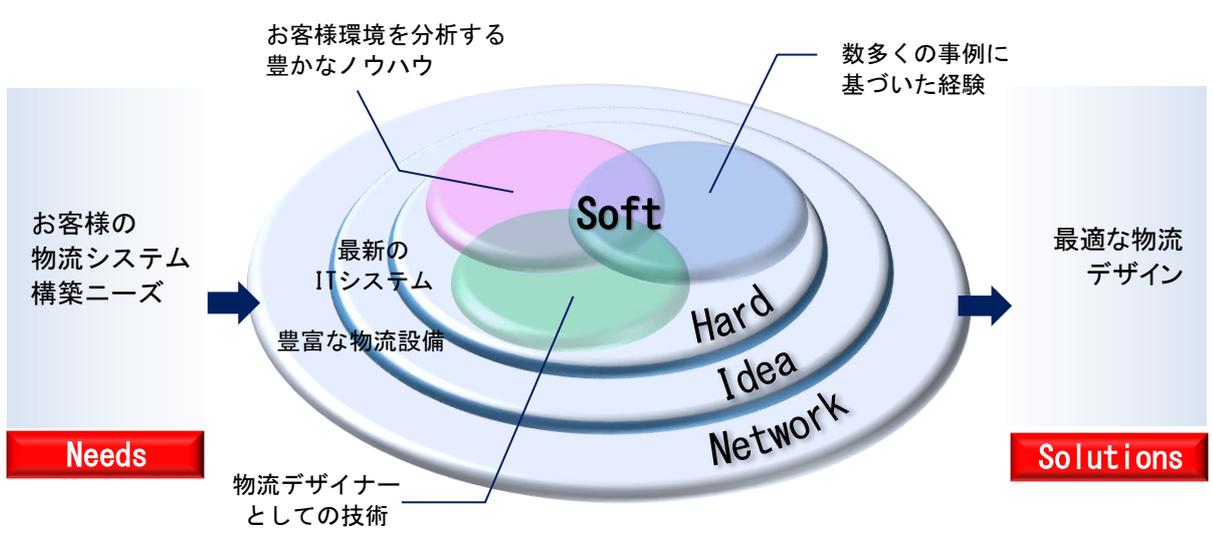
お客様のニーズに最適な物流を提案する上組の「デザイン物流」で社会へ貢献

お客様のニーズに応えるためには、お客様を取り巻くモノの流れを把握・分析する豊かなノウハウがあること、豊富な物流設備、最新のITシステムの提供はもちろん、お客様のコスト削減や環境負荷低減のアイデアを積極的に提案できることが必要です。当社は、物流デザイナーとしての技術と、創業以来培ってきた豊かな経験をもとに、独創的な総合物流サービスをデザインしていきます。



グローバルな物流をデザイン

当社が目指す「物流」は、「地球規模」のモノの流れをつくるということ。目的地までの物流に必要な輸送手段を「トータルパッケージ」で提供する、複合一貫輸送の担い手として、またグローバル経済に必要不可欠な会社として、さらなる飛躍を目指します。



グローバル企業として国際複合一貫輸送ネットワークを拡大

当社は現地法人・事務所の設置や、世界各国の企業との業務提携を通じて、国際複合一貫輸送の輪を拡大しています。現在では全世界に40箇所の拠点を置く国際物流網を形成。多国間貿易の国際物流コーディネーターとして、積極的に海外拠点の開発を推進し、国際ネットワークの拡大と強化に取り組んでいます。

たとえば、ドバイで――

大型複合火力発電所の機器一式や太陽熱・太陽光プラント輸送、ケーブルなどの重量物輸送・据付業務など、豊富な資源・資金を背景に躍動し続ける中東各国の国づくりの一端を担っています。世界最速のスピードで建設されたドバイ・メトロ約60kmの高架橋セグメントの輸送など、巨大プロジェクトが多いのも特徴です。



ドバイ・メトロ高架橋セグメントの輸送

たとえば、タイで——

多くの日系企業の進出を背景に、自動車や電気関連部品、また住宅資材から、雑貨・食品まで幅広く取り扱っています。お客様がタイに進出される際のBOI (Board of Investment) 申請のお手伝いをはじめ、輸出入から倉庫作業や輸送、設備据付・入替作業まで一貫作業の提案も行っています。「周辺諸国のハブとしての発展」を目指すという政府戦略を受けて、タイにおけるロジスティクスには、今後、さらなる成長が期待されています。



レムチャバン港でのコンテナ荷役

たとえば、中国で——

日本向けはもちろん、アメリカ・欧州・東南アジア・アフリカと、全世界向けの3国間輸送にも豊富な経験を持ち、中国国内にも幅広い輸送ネットワークを構築しています。現在、最も注力しているのは流通・小売り業種を主なターゲットとした、ピース単位での仕分け・在庫管理・流通加工・店舗別出荷などの3PL事業です。

また、様々な業務上の問題は全て数値化し、KPI (Key Performance Indicators: 重要業績評価指標) を定めて、現場の見える化と業務の改善を図っています。



上海での自社トラックによるチルド品配送

上組の海外拠点 The Advance Into Overseas Markets



ヨーロッパ

- イギリス
- ロシア
- オランダ
- デンマーク
- ドイツ
- スペイン

中近東

- イラク
- シリア
- ヨルダン
- サウジアラビア
- クウェート
- U. A. E
- トルコ
- アゼルバイジャン

アフリカ

- エジプト
- 南アフリカ

アジア

- 中国
- 香港
- 台湾
- ベトナム
- タイ
- マレーシア
- シンガポール
- インドネシア
- 韓国
- ミャンマー
- インド
- スリランカ
- バングラデシュ

オセアニア

- オーストラリア
- ニュージーランド

北米

- アメリカ
- カナダ

中南米

- メキシコ
- ブラジル
- チリ
- アルゼンチン
- コロンビア
- ペルー



豊富な保有施設と物流機器による多種多様な取扱実績

当社の強みである青果物をはじめ、多種多様な貨物の取扱いでお客様をサポートします。コンテナから機械、プラント、鉄鋼製品、木材、また冷凍食品や穀物など、幅広い貨物の取扱実績を誇ります。また、港運業者としては珍しいプライベート・コンテナ・ターミナルを保有。ITを駆使した最新鋭のオペレーション・システムを導入し、集荷や倉庫搬入など 港湾業務の一切を当社が担当することによって、作業時間の短縮、コストの削減を実現しています。

青果物

神戸港における当社のバナナ輸入取扱いのシェアは、実に95%以上。「食の安全」を大切に、輸入青果物の本船荷揚げから保管・加工・出荷まで、徹底した温度管理により貨物の品質を保つ「コールド・チェーン」の構築にも取り組んでいます。



冷凍食品

各地の倉庫で、冷凍食品やアイスクリームなどのチルド貨物・冷凍貨物を取り扱っています。商品特性に応じ+10℃から-25℃までの室温調整が可能であり、徹底した品質管理と、正確・迅速な荷役を行います。



ばら貨物

本船で運ばれてきた小麦・大豆などの穀類を専用機器で荷揚げし、サイロでの保管を経て、お客様にお届けします。食品・飼料メーカー様の必要に応じ、国内流通の中間基地として貨物の保管・運搬を担っています。



重量貨物

発電所プラント、産業機器、化学プラント機器、鉄道車両など、当社には数多くの大型産業機器輸送のノウハウが蓄積されています。大型特殊車両を利用した重量貨物の運搬をはじめ、「安全」と「品質」をテーマに幅広い業務に対応しています。(ISO 9001 取得)



自動車

輸出用の完成車・中古車の、陸上輸送から通関、船積み業務までを一貫して行います。保有する自動車輸送専用車で輸送ののち、輸出車専用ヤードにて一旦保管し、専用船に積み込み輸出します。



建設機工

工場・倉庫などの設計・施工から解体撤去、各種産業設備・機器の製作据付や運搬に伴う据付工事など、物流を含めたトータルな建設機工業務で、発電所や交通機関などの社会基盤整備にも貢献しています。



製鉄原料・製品

お客様の工場・倉庫などの構内で発生する本船からの原料受入、原料ヤードから各加工工程への運搬、製品の出荷に至るまでの運搬・輸送業務を、トータルにカバーしています。



生花類

輸入から検品、仕分け、出荷まで、スピーディな荷捌と適切な品質管理を行い、デリケートな生花の品質を落とさないよう貨物のケアに努めています。



総合物流サービス

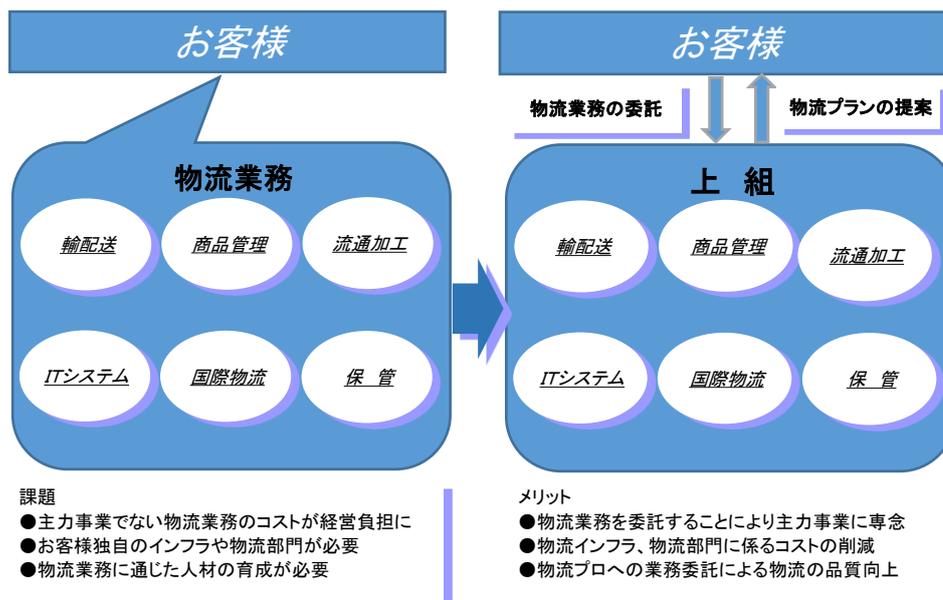
「港湾」を軸に、物流を最適化しお客様の最高の物流パートナーへ

上組は東京港・神戸港に、自社単独運営のコンテナターミナルを保有。また東京・神戸のみならず、各主要港においても、船内から沿岸荷役まで一貫して行う一般港湾運送事業者としての技術を発揮しています。

港湾運送 6大港、地方港など全国の物流拠点で港湾物流を展開

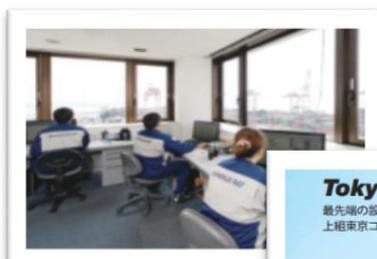
経営の効率化や物流におけるニーズの多様化などにより、主力事業（生産・販売など）以外の物流事業のアウトソーシングが主流となっています。

上組は豊富な物流インフラと、世界中に広がる物流ネットワークを活用して、お客様の主力事業を支えます。



ターミナルコントロール

コンテナターミナルの中核部であるオペレーションセンターにて、本船の積み下ろし作業の進捗状況から、輸出入コンテナの搬入スケジュールまでを一括コントロール。オペレーターは、ガントリークレーン、トランスファークレーンなどの大型コンテナ荷役機器が効率的に動くよう指示を出します。



ターミナル・オペレーター（港湾荷役）

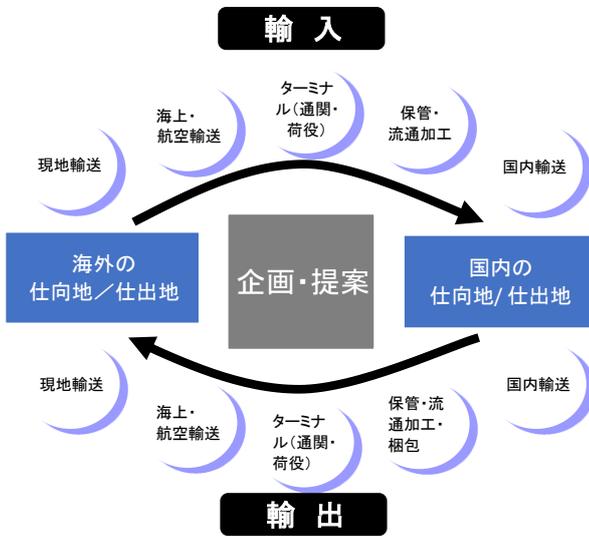
長い歴史を誇る当社の発祥は、神戸港での港湾荷役。荷役の大半が機械化された現在も上組の伝統・ノウハウは大きな力を発揮します。自社単独運営のコンテナターミナルだけでなく、主要港におけるターミナル・オペレーション業務でも、本船から物流センターまでの港湾荷役に加え各種書類の手続きまでトータルサポート。



輸出入通関

一言で輸出入関連業務といっても、船会社の手配から輸出入書類の作成、税関通関申告、検査、通関のための各種検査、保税倉庫の手配など、荷主様にとって煩雑な多くの業務、手続きを含んでいます。

当社は、これらの業務・手続きを代行し、お客様のビジネスを円滑に進めるお手伝いをしています。



TOPIC

AEO認定事業者



当社は、国際総合物流企業として、顧客ニーズに応え国際物流の安全確保に貢献するため、全国の拠点で輸出入関連業務全般の貨物セキュリティ管理とコンプライアンス体制を整備し、神戸税関から2011年6月16日に特定保税承認者、2014年1月24日に認定通関業者の認定を受け、倉庫業と通関業の両輪のAEO事業者となっております。

特定保税承認者としては2015年8月1日現在、主要港をはじめ北海道から鹿児島まで、全国に49箇所の保税蔵置場がAEO蔵置場として届出受理されております。物流を通じて国際社会に貢献すべく、今後も届出保税蔵置場の拡充を行ってまいります。



門司支店 太刀浦倉庫
(2015年5月届出)



神戸支店 住吉倉庫
(2015年8月届出)

上組が描くデザイン物流

CSRマネジメント

社会とのつながり

環境とのつながり

倉庫 多機能倉庫での保管から梱包・流通加工までをサポート

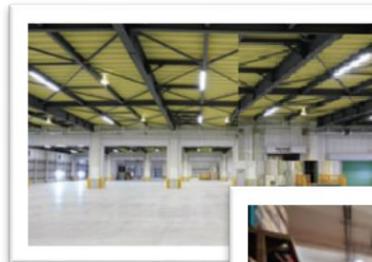
倉庫保管

常温倉庫： 商品や作業に合わせた倉庫レイアウトが可能です。一般食品品、機械類、繊維製品、化学品、石材、木材などを取り扱っています。

定温倉庫： 青果物、落花生、米、雑豆、一般食品品などの、0℃から20℃までの温度管理を必要とする貨物の保管に適しています。厳密な温度・湿度調整を行い、貨物の品質を保持します。

冷蔵・冷凍倉庫： +10℃から-25℃までの温度管理を必要とする貨物を保管します。貨物の特性に応じ、常に最適温度となるよう、厳密な温度管理で品質を保持します。

サイロ： 大麦、小麦、コーン、大豆ミールなどの、ばら貨物と呼ばれる貨物を保管する円筒形の倉庫です。厳密な品質管理によってハイクオリティな保管を行います。



左：常温倉庫
下：定温倉庫



上：冷蔵・冷凍倉庫
右：サイロ



流通加工

輸入雑貨や食品の検品・ラベル貼り作業、 Apparel製品の札付け・検針・ラッピング作業、小口多品種貨物のピースピッキング・リパック作業などの煩雑な作業を、お客様に代わって行います。



梱包

天井クレーンなどの設備を備えた梱包工場を構え、貨物の荷姿に応じた梱包作業が可能。神戸の梱包工場には、ダンボール梱包に対応した機器を新規導入。より幅広い貨物に対応します。



輸送 最適なサービスを提供する 国際複合一貫輸送

自動車輸送

当社は保有するトラクター・トラックによる自社サービスとしての陸上輸送を提供しています。

また、陸運部門子会社である上組陸運株式会社及び全国の協力会社のネットワークにより、多種多様なトラック輸送に対応しています。



法人向け宅配事業「カミグミ急便」

1999年よりスタートした「カミグミ急便」は、当社の誇る物流ネットワークを活かした、法人向け宅配便サービスです。

小口配送のための仕分けなど、付帯作業もお任せいただけます。



海上輸送（内航船・外航船）

外航海運の利用運送事業者（=NVOCC）として、海上輸送を中心に異なる輸送モードを組み合わせ、ドア・ツー・ドアの国際複合一貫輸送を実現。また国内輸送においては、子会社である上組海運株式会社をはじめ、日本中を網羅するフィーダー・ネットワークを構築しています。

航空輸送

東京・名古屋・関西の各国際空港に、当社グループの航空輸送フォワーダー会社（上組航空サービス株式会社）を配置。

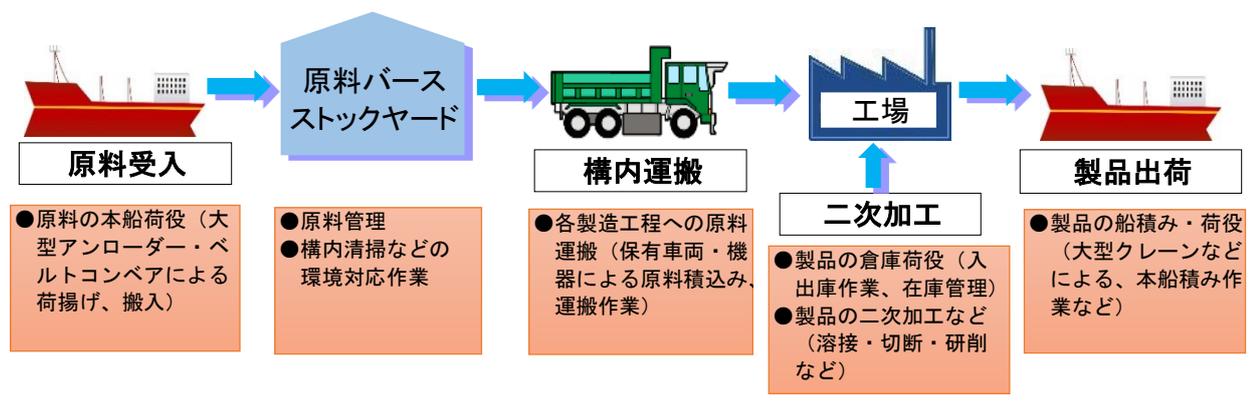
お客様のニーズに合わせて、グローバルな航空輸送も提供できます。

鉄道輸送

CO₂の削減など環境にも配慮する当社は、鉄道輸送の利用運送事業許可（神戸貨物ターミナル）も保有。モーダルシフトによる環境対応輸送サービスもご提案します。

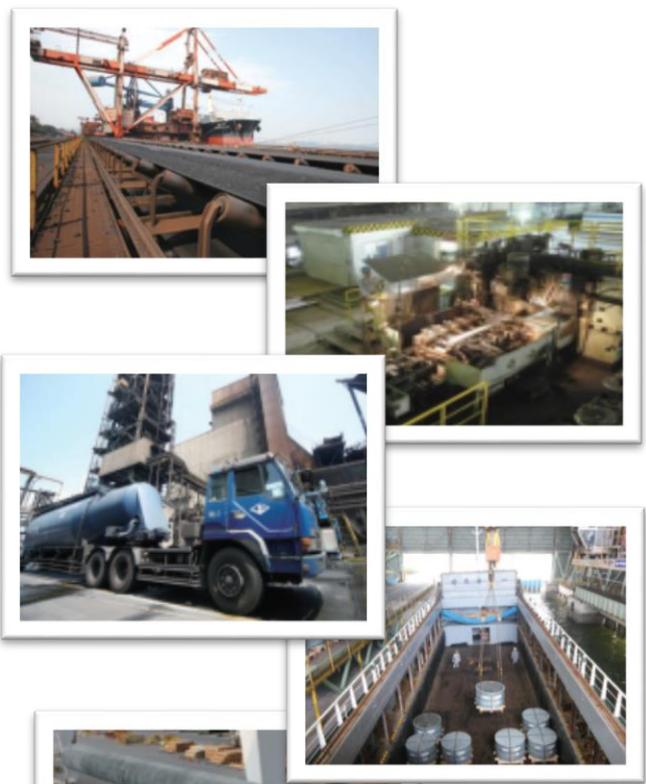


お客様の工場・倉庫などの構内で発生する本船からの原料受入、原料ヤードから各加工工程への運搬、製品の出荷に至るまでの運搬・輸送業務をトータルカバー。
お客様の生産工程を把握・分析し、生産性向上と安全確保を実現しています。



原料本船荷役～構内への搬入

お客様の膨大な原料供給需要に応じ、アンローダークレーン（荷揚げ用クレーン）を活用して、本船からの荷揚げ作業を効率的に行っています。荷揚げした原料は、一旦原料ヤードと呼ばれる保管場所に蔵置されたあと、管理センターで集中管理されたベルトコンベヤや、搬送用大型ダンプ車両などにより、工場構内へ運搬します。



二次加工

生産工程において、鋼板の研削、切断などの加工作業を行っています。遠隔操作グラインダーによるスラブ（カマボコ板状の鋼板）の研削や、切断機による切断作業などの二次加工作業を行い、次工程へ送り出します。

製品管理・出荷業務

最終製品である厚板やコイルなどの、倉庫への入庫から在庫管理、船積みなどの出荷作業までお引き受けします。鋼管などの長大製品輸送も、当社保有の特殊車両で対応します。

環境対応作業

高まる環境対応ニーズに応えるために散水車による粉塵対策や、高所放水車による構内清掃作業にも対応しています。



変電所プラント、産業機器、化学プラント機器、鉄道車両など、当社には数多くの大型産業機器輸送のノウハウが蓄積されています。

火力発電プラントモジュールの輸送・据付

火力発電プラントモジュール輸送、ボイラーモジュール水切り輸送据付までの一貫作業を行っています。

(ボイラーモジュール重量：3,820 t、直径：16m、高さ：52m)



風力発電設備の輸送・据付

風車の部材の水切り、運搬車両への積込み据付場までの輸送ならびに風車の据付の一貫輸送作業を行っています。

(発電容量：2MW、羽直径：約80m、高さ：約80m)



プラント機器の輸送・据付

国内メーカー及び海外メーカーから海上輸送されるプラント機器の水切り、重量物運搬車両による日本国内（納入先）への輸送及び現地での据付までの一貫輸送を行っています。



原子力燃料の輸送

原子力発電所内で、最高レベルの安全管理・輸送品質が要求される使用済燃料の輸送を行っています。



工場・倉庫などの設計・施工から解体撤去、各種産業設備・機器の製作据付や運搬に伴う据付工事など、物流を含めたトータルな建設機工業務をお引き受けします。

建築サービス

住宅（個人、社宅、寮など）、倉庫（定温、冷蔵など）、事務所施設、店舗（コンビニエンスストアなど）のように、あらゆる施設の設計から施工・メンテナンスを行っています。



解体・撤去工事

製鉄所の圧延製造ライン、土砂搬出用の大型コンベヤ設備など、大型設備・施設の解体・撤去を行っています。



機工サービス

製作部門

発電所向けの煙突、鉄塔、コンベヤフレーム、タンク類など、鋼構造物の設計・施工を実施しています。

アミューズメント

全国各地で、遊戯施設の施工・メンテナンスを実施しています。

特に木製ジェットコースターは、実に全国7施設のうち6施設※を当社が据付けています。

※2013年4月時点



機工メンテナンス

製作・据付施設や、圧延製造ライン、大型コンベヤ設備などのメンテナンスを行っています。



当社が取り組む、賃貸マンション、酒造などの新規事業をご紹介します。

不動産事業

“不動産の有効活用を通じて、豊かな社会生活の創造に貢献したい”との思いから、各地に賃貸マンション「サニープレイス」を展開。

サニープレイス—陽のあたる快適な居住空間—を、上組がプロデュースします。



ソーラー事業

当社は、再生可能エネルギーによる地球環境負荷低減のため、自社施設・土地を活用したメガソーラー事業に参入しました。

神戸市内の民間企業として初のメガソーラーであり、将来的に発電能力12MWを目標として取組みを進めます。



酒造事業

当社グループの岩川醸造株式会社は、1870（明治3）年創業の薩摩焼酎蔵元です。

鹿児島県曾於市のおいしい空気と水の中、岩川醸造の本格焼酎は造られています。



外食事業

岩川醸造の本格芋焼酎をはじめ、蔵元ならではのこだわりの焼酎が楽しめる「蔵元酒場おやっとなさあ」。“焼酎に合う和洋折衷”をテーマに本格シェフが手掛ける鹿児島料理からイタリアンを気軽に堪能できるお店です。



農業事業

当社グループの大分港運(株)が中心となって設立した農業法人（株）サニープレイスファームでは、高糖度トマト「朱々（しゅしゅ）」の大規模栽培を行っています。

今後、「朱々」を全国ブランドに育てていくとともに、地域農業の活性化や就農者の育成に努めるなど、地域社会への貢献にも取り組みます。



CSRマネジメント

上組グループは、
あらゆるステークホルダーから
信頼される企業として
コーポレートガバナンス体制を整備し、
更なる価値の創造を目指します。

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主の皆様をはじめとする様々なステークホルダーの利益を損なうことのない、迅速かつ適正な意思決定と業務遂行を確保し、長期安定的な成長を実現するための効率的な経営体制の確立を基本方針として、コーポレート・ガバナンスの充実・強化に努めております。

また、連結経営のもとでグループ会社を含めた適法経営を確保するため、事業運営上の様々なリスク管理を根幹とする内部統制システムを構築し、企業としての社会的責任を忠実に果たしてまいります。

内部統制システムに関する基本方針

当社は、「常に時代の風を読み、変化する社会の要請に即応しながら、一步先のテーマに取り組み、企業価値の向上と、経営の安定に努め、ひいては豊かな社会の実現に貢献する」との経営理念を掲げ、総合物流企業として、継続的な成長の実現と、社会的責任の履践を目指している。

この目的を達成するため、当社では次のとおり内部統制システムに関する基本方針を定め、体制・制度の構築と運用、および定期的に見直しと改善を行う。

①取締役および従業員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

当社は、企業活動の基礎として法令順守を第一に掲げ、遵法精神の確立と実践を目的として当社グループ全体に適用される「上組グループ企業行動憲章」を制定している。

当該規範に基づき、当社グループにおける内部統制体制の確立・推進のため「コンプライアンス・リスク管理委員会」を設置し、「コンプライアンス規程」をはじめ社内規程の策定と、「企業倫理ヘルプライン」と称する内部通報制度の整備・運用を行う。

また、業務モニタリングのため、独立組織として社長直属の内部監査部を設置し、当社グループの監査を行う。

②取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る情報については、「文書管理規程」その他関連する規程に従い、文書等に記録し適切に保存管理を行う。また、保存管理する情報を、常時、取締役および監査役が閲覧できる体制を整える。

③損失の危険の管理に関する規程その他の体制

事業運営上の様々なリスク管理については、「リスク管理規程」等に従い、当該分野の所管部署が対応を行うほか、コンプライアンス・リスク管理委員会が当社グループ全体にわたる横断的な管理を行う。

④取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社グループは、将来の事業環境を踏まえた中期経営計画を策定し、その目標達成に向けた具体的な計画を立案・実行する。

また、定例の取締役会を原則として月に1回開催し、取締役の職務の執行状況の監督等を行うとともに、職務執行の有効性・効率性の確保のため当社および当社グループに係る重要事項については、当社の取締役会で決定することとする。

加えて、執行役員制度を導入し、経営の意思決定と監査、業務執行を分離することで経営の効率化を図る。

⑤会社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

「関連子会社管理規程」を制定し、当社グループにおける経営上の重要事項や営業成績について、定期的な報告を義務付ける。

また、当社グループにおけるコンプライアンス、リスク管理体制、その他内部統制に必要な組織ならびに体制の整備については、当社のコンプライアンス・リスク管理委員会および各事業所に置くローカル委員会が行うとともに、当該運営に係る重要な方針等の決定を行い、当社の内部監査部によるモニタリングを通じてその実施状況を監視する。

⑥監査役がその職務を補助すべき従業員を置くことを求めた場合における当該従業員に関する事項

社内より適任者を任命し、監査補助者として、監査役の業務をサポートできる体制を整え、監査の効率化と監査機能の充実を図る。

⑦前号の従業員の取締役からの独立性および当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

前号に定める監査補助者は、監査役より監査業務に必要な命令を受けた場合は、その命令に関して取締役、従業員から一切不当な制約を受けないこととし、また、監査補助者は、その職務の遂行に当たっては監査役の指示に従うものとする。

⑧取締役および従業員が監査役に報告するための体制、その他の監査役への報告に関する体制

当社グループの取締役および従業員は、監査役に対して、下記事項に関する報告を遅滞なく行う。

- ・当社グループに影響を及ぼす重要事項に関する決定
- ・当社およびグループの業績状況
- ・当社グループのコンプライアンス違反行為に関する事項
- ・企業倫理ヘルプラインにおける通報内容および当該通報に対する調査結果に関する事項
- ・経営会議等の重要な会議等で審議、報告された案件
- ・内部監査部が実施した内部監査の結果
- ・当社グループに著しく損害を及ぼす恐れのある事項

⑨前号により監査役に報告した者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制

当社は、前号による報告を行った者に対し、報告したことを理由とする不利益な取扱いを禁止し、内部通報者についても、内部通報を行ったことを理由としていかなる不利益な取扱いを行わないことを規定する。

⑩監査役の職務の執行について生ずる費用の前払いまたは債務の処理に係る方針に関する事項

当社は監査役がその職務の執行について、当社に対し、会社法第388条に基づく費用の前払い等の請求をしたときは担当部署において審議のうえ、当該請求に係る費用または債務が当該監査役の職務の執行に必要でない認められた場合を除き、速やかに当該費用または債務を処理する。

⑪その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査役が、取締役会などの重要な会議に出席し、職務の執行等に関する報告を受けるとともに、意見・情報交換などを行い、また、内部監査部および会計監査人と事業年度毎の監査計画の策定および実施等について、定期的な打合せや意見・情報交換を行うことができる体制を構築する。

また、監査役が必要に応じて、重要な議事録、決裁書類等を閲覧できる体制を整備する。

制定 平成18年5月

改定 平成27年5月

コンプライアンス・リスクマネジメント活動の推進

従業員へのコンプライアンス教育及び啓蒙

法令遵守は企業における最低限度のルールとし、全ての従業員を対象に企業の社会的責任（CSR）における教育を行っております。

また、情報展開ツールとして、2010年度よりRiskManagementだより（RMだより）を発行し、従業員への情報提供及び教育に活用されております（2015年8月末現在 第230号）。

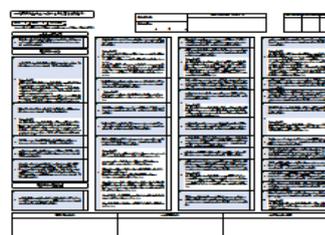
また、教育結果を踏まえ効果のモニタリング等研修後のアンケートにて図り、継続的な研修体制を構築しております。



RiskManagementだより（RMだより）

実効性のあるコンプライアンス体制の構築

当社はリスクマネジメントの推進として、コンプライアンス・リスク管理委員会（本店）及び下部組織であるローカル委員会（各支店組織）において、高い倫理観を持った組織作りを目指し、継続的な教育を行い、様々なリスクへの『気づき』を提供するべく、リスクマネジメント定期点検記録簿を月例にて実施し、リスクへの対応状況をモニタリング（相互牽制）し、誠実な企業運営に取組んでおります。



RM定期点検記録簿

内部通報制度の周知徹底

上組グループでは、万一、社員が社内において法令違反の疑いのある行為などに気づいた場合に、当該情報を組織・職務の枠を超えて、直接当社の経営に提供し得る手段として、「企業倫理ヘルプ

ライン」を設置し、更なる企業倫理の確立に努めております。この企業倫理ヘルプラインでは、情報提供を行ったことによる不利益を受けないことが明確化され、その旨が周知されております。

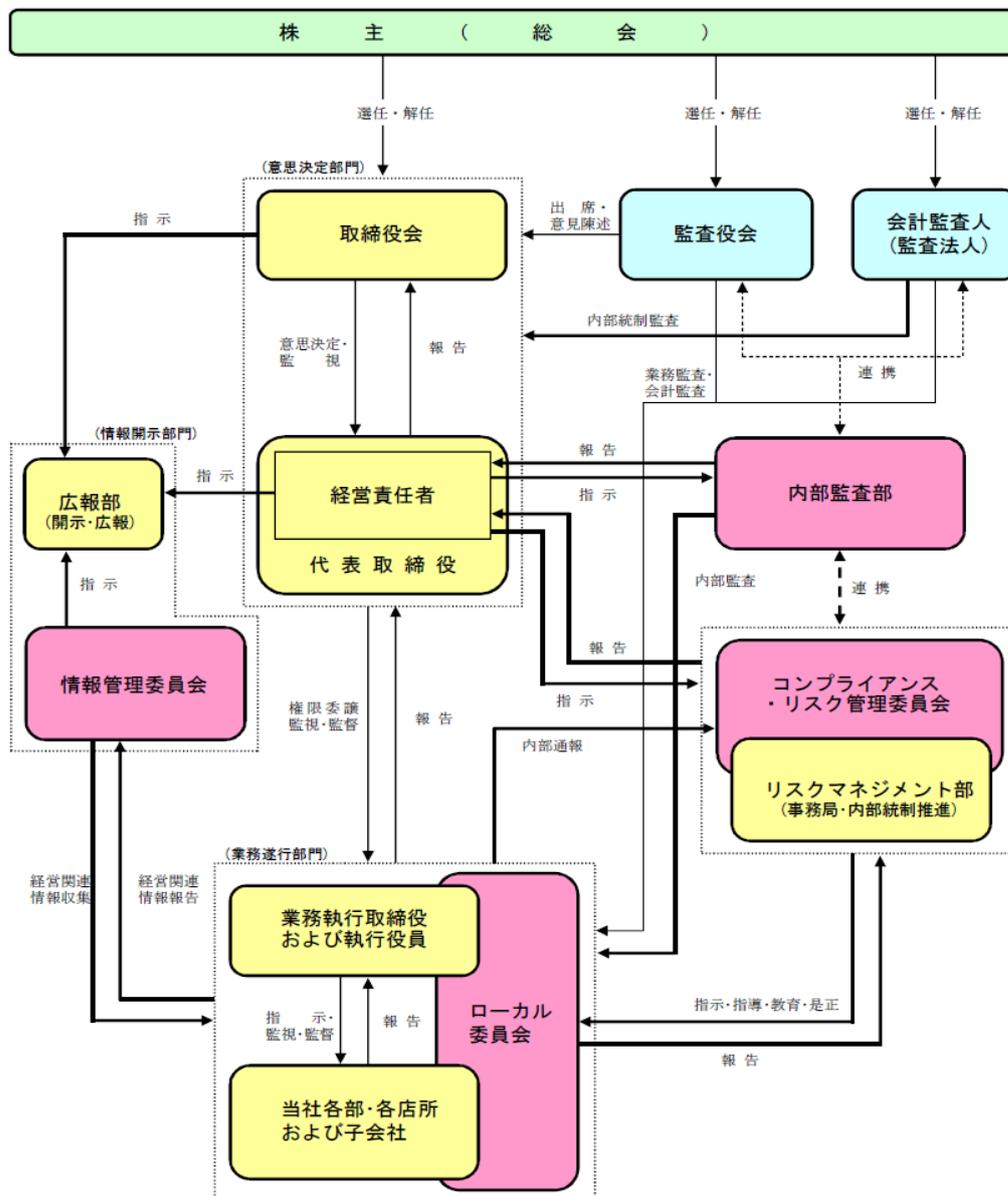
内部監査の実施

内部監査部において、内部監査規程に基き、内部監査が実施されています。内部監査の目的は、会社の組織、制度および業務が法令および定款等に準拠して、効率的に運用されているかを検証、評価、助言することにより、不正の未然防止、正確な管理情報の提供、財産の保全、業務活動の改善向上および内部統制の適切性を図り、経営効率の増進に役立てることにあります。監査の範囲は、社内諸規則の順守、職員の執務、経営方針に基く

業務遂行の状況、財務報告に係る内部統制の状況及び財産の取得、運用、管理、処分の状況等です。

内部監査部は、当社及び子会社の監査結果を経営者に報告しております。また、金融商品取引法が定める内部統制制度に基く当社及び連結子会社を対象とした、財務報告に係る内部統制の有効性評価についても内部監査部が担当し、監査役と厳密な連絡を保ち、監査結果に基き監査役監査に協力しております。

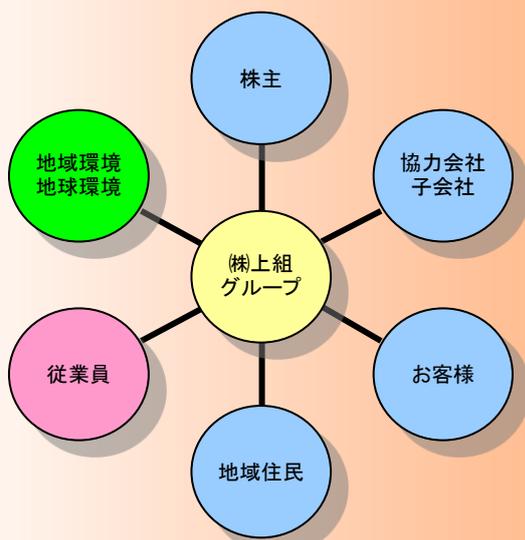
内部統制システムに関する組織図



社会とのつながり

社会との調和を目指し取り組んでいます

上組グループは、あらゆるステークホルダーから信頼される企業として社内外で様々な取り組みを推進しております。



デザイン物流サービスの提供 ～お客様満足の上昇～

経営環境の変化の著しい現在において、お客様の物流に対するニーズは益々多様化を深めております。

当社は、そのお客様の様々なニーズを的確に捉え、陸海空における総合物流コーディネーターとして培ったノウハウと豊富な実績をもとに、当社保有の充実した物流設備やアジアを中心とするグローバルネットワーク、先進のITシステムを組み合わせ、当社独自の『デザイン物流サービス』として、提案型営業を推進しお客様満足の向上に貢献してまいります。

対等な取引関係の構築

当社では、取引先から、サービスの安全性を脅かすような、または法律違反もしくは事故に繋がる危険性があるような、無理な要求を受けたり、私たちから取引先へ同様の無理な要請をいたしません。

反社会的勢力に対する対応

当社は、反社会的勢力への対応にあたっては組織的に毅然とした態度で行動すべく、社内体制を整備するとともに、「三ない原則（恐れない・金を出さない・利用しない）」を掲げ、グループ全体にこれを徹底・浸透させ、市民社会の秩序や安全の確保に努めてまいります。

情報セキュリティへの取組み

職務上知り得た個人情報等の第三者の情報については、その保護に万全を期し、本来の目的以外に利用することや漏洩することは決して行いません。また、職務上で得た秘密情報が、社外に対してはもちろん役員および社員の間においても漏洩されることがないように、情報管理、情報セキュリティ対策を徹底しております。

個人情報保護の取組み

当社にとって、情報セキュリティの問題の中でも、個人情報保護法により規制される個人情報に関する取組みも重要な課題となります。

上組グループでは、2006年5月22日に制定した「個人情報保護規程」により、個人情報保護に関する諸法令や社内規則を遵守するのはもちろん、個人情報保護に係る統括責任者を選任し、その取扱いに際しては万全の体制を期しております。

セキュリティポリシー

保税蔵置場並びに、通関業営業所におけるセキュリティ意識の浸透を図るべく、セキュリティポリシーの制定を行っております。保税蔵置場においての物理的なセキュリティポリシーとして「不審者を近付けさせない、貨物に触れさせない」を掲げ、高度なセキュリティ管理のもと、安全・安心をお客様にご提供いたします。通関業営業所においては情報セキュリティポリシーとして「顧客機密の厳守」を掲げ従業員一丸となつての取組みとし、顧客情報の管理を徹底してまいります。

事業継続計画（BCP）への取組み

巨大地震に対する事業継続計画

阪神・淡路大震災、東日本大震災を経験した企業として、災害時の事業継続、早期復旧がお客様からの信頼を維持し、社会の要請に応えることとなり、企業価値の向上に繋がるという考えに基づき、東南海、南海トラフ巨大地震を想定した、BCPマニュアルの整備を行い、各業務の事業継続計画の実施など各部支店の環境に応じた緊急時対策を個別に講じています。

また、本支店間の情報共有の円滑化を図るべく防災インフラとして携帯型無線機の配備を行い、適切な指揮命令系統、支援要請に即応できる体制を構築すべく取り組んでいます。

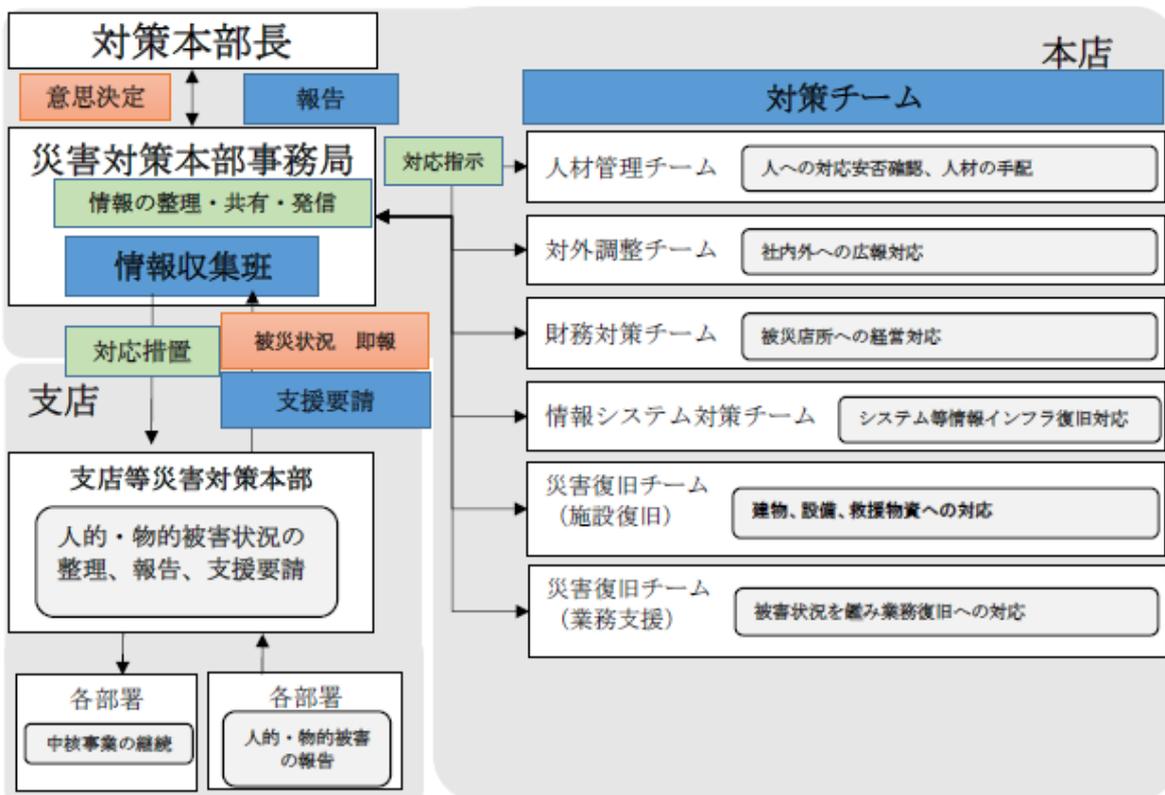
本BCP体制において、大災害への対応を迅速に行う事で、物流サプライチェーンの早期復旧を果たせるよう、尽力してまいります。

新型インフルエンザ対策

パンデミックBCPへの備えとして、各部支店において、新型インフルエンザ対策マニュアルを策定し、支店及び拠点・事業所の事業継続計画としてアクションプランに沿った、実効性のあるBCPを構築しております。

また、社内安全管理組織である、上組中央安全衛生協議会において、迅速な情報展開で予防対策、注意喚起を行っております。

本支店間におけるBCP体制図



ミャンマー「ティラワ経済特別区(SEZ)」における物流倉庫事業合弁会社設立について

当社は、住友商事株式会社様と共同で、ミャンマー連邦共和国（以下「ミャンマー」）ティラワ経済特別区における先行開発エリアZone Aにて総合物流事業会社 Thilawa Global Logistics Co., Ltd.（以下「TGL社」）を設立いたします。

民主化が加速し日系企業の進出計画が相次ぐミャンマーで、日本・ミャンマー官民が共同開発する同国最大の工業団地ティラワ経済特別区はヤンゴンの南東約20kmに位置し、総面積 2,400ヘクタールの広大な敷地を有する同国初の近代的工業団地です。同地区の先行開発エリアにおいては自動車部品や電子機器、建設資材の製造業など様々な業種の企業の入居が決まっており、その半数以上は日本企業となっております。

このような環境の中当社は TGL社を通して他社に先駆けて同地区に物流倉庫を備えた総合物流センターを建設、日系企業を中心とする進出企業に対する高付加価値物流サービスを提供してまいります。これにより既に設立済みの現地物流会社 Kamigumi-EFR Logistics (Myanmar) Co., Ltd.とトラック輸送・フォワーディング事業でのシナジーを図り、成長著しいアセアン各国での当社拠点間の物流ネットワークをより強固なものにいたします。併せて ODA にて整備される予定のティラワ地区港ターミナルへの創貨・集荷機能を実現させ同国における物流事業拡大を図ってまいります。



TGL社物流施設 完成予想図



起工式での関係者での鉄入れ

「タイ・ミャンマー間容大貨物陸上輸送」について

当社は、この度成長著しいアセアン域内の中でも特に注目されているタイ・ミャンマー間の国境間輸送において、これまで海上輸送に頼っていた容大貨物の輸送を陸上輸送に変更し、大幅なリードタイムの短縮と輸送コストの削減を実現いたしました。

これまでタイ・ミャンマー間の陸路はミャンマー側山岳地帯が悪路であることから利用されておりましたが、当社は2014年、タイ国内工場で生産された大型建設部材を陸路でミャンマーへ輸送し、従来の海上輸送では19日間（タイ側での船積まで2日間、海上輸送10日間、ミャンマー側での輸入通関・配送まで7日間）要していたリードタイムを6日間（実績値）にまで大幅に短縮、全体の輸送費も10%程度低減することが出来ました。

当社はミャンマーにおいて2014年4月に現地パートナーと合弁会社（Kamigumi-EFR Logistics (Myanmar) Co., Ltd.）を設立、同社の自社車両を使用した陸運に特に力を入れており、今回の陸上輸送にはこの合弁会社を起用しております。

タイ国境のミャワディーにおいては、現在建設中のバイパス道路が2015年中の完成予定であり、山岳地帯の輸送問題が解消され、タイ・ミャンマー間の陸上輸送が劇的に増加する事が予想されております。当社ではこのような状況も踏まえ、現在は不定期である陸上輸送サービスを将来的にはタイ現地法人と連携の下、ミャンマー合弁会社の自社車両による定期運行化を構想しており、今回の大型建築部材の輸送はこれらの将来的な物流を強く推進させる取り組みの一環でもあります。

当社は今後もアセアン地域における物流網の構築を通じ同地域各国の発展に貢献してまいります。



輸送風景（ヤンゴン市内）



タイ側国境通過の様子

【陸上輸送概要】

- ▽ タイ側引取地 = サラブリ（バンコクの北 115 km）
- ▽ ミャンマー配送地 = ミンガラドン地区（ヤンゴン市北部）
- ▽ 輸送経路 = サラブリ工場（バンコクの北 115 km）⇒メソット（タイ国境）
⇒ミャワディー（ミャンマー国境）
⇒コーカレイ（ミャンマー側の山岳路が終点）
⇒ヤンゴン市内（全走行距離：約 900 km）

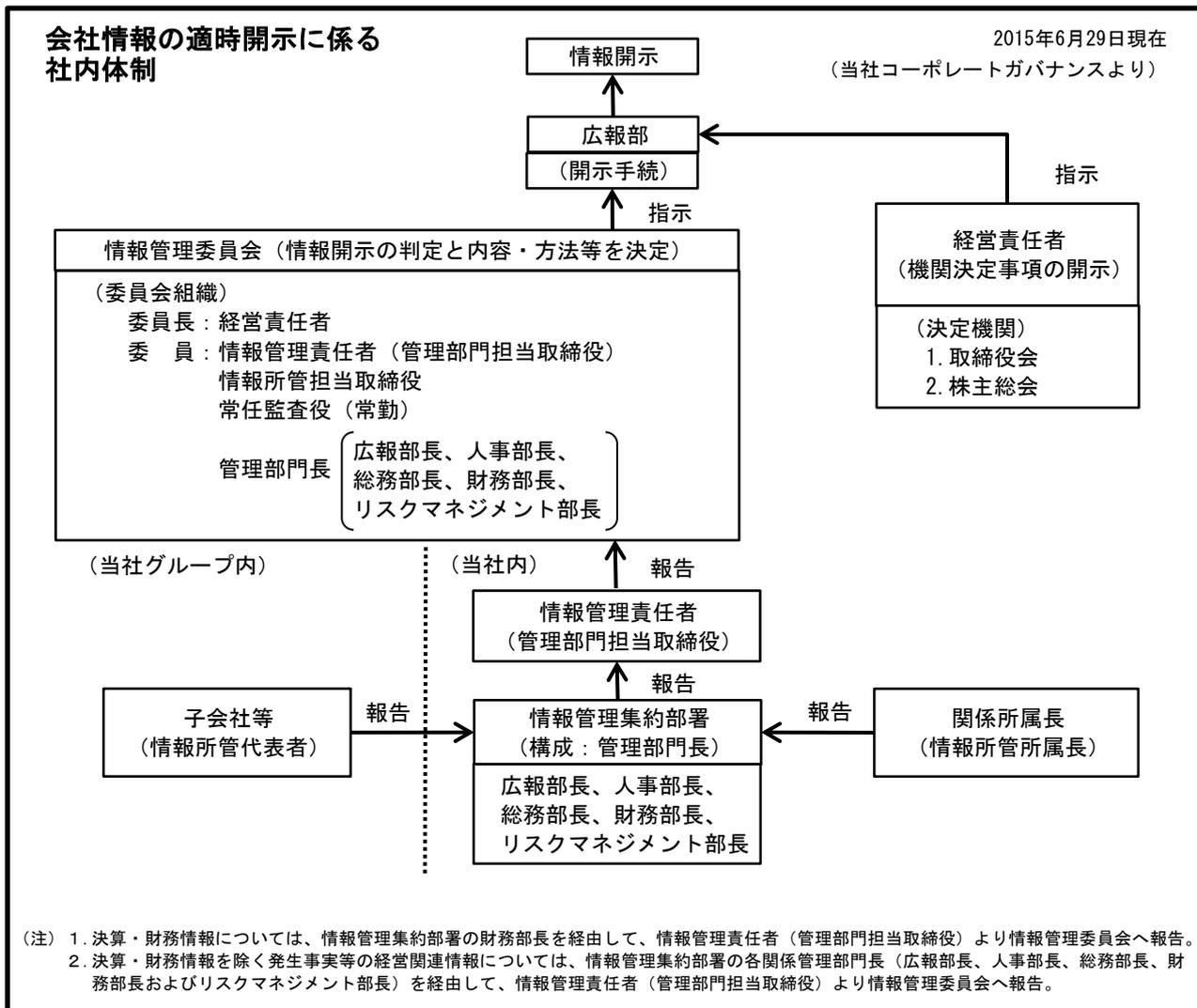
上組ディスクロージャーポリシー

～当社は、企業情報の開示に関して以下のポリシーを制定しています。～

当社は、適時適切なディスクロージャーを通じて株主様その他ステークホルダーの皆様当社を深く理解していただくとともに、市場との対話により当社に対する市場の評価を経営に定常的に反映させていくことで株主価値の増大を図ることを目的として、本ディスクロージャーポリシーに基づき、当社ウェブサイトをご覧の皆様へ情報を公開しております。（当社ホームページ <http://www.kamigumi.co.jp/>）

<p>1. ディスクロージャーの基準 当社では、上場証券取引所の定める適時開示規則に沿ってディスクロージャーを行っております。 また、投資判断に重大な影響を与えると考えられる決定事項、発生事実、決算に関する情報が発生した場合は、適時開示規則に該当しない情報についても自主的に開示する方針です。</p> <p>2. 情報の開示方法 上場証券取引所の定める適時開示規則に規定される重要情報の開示は、同規則に従い、当該証券取引所の提供する「TDnetシステム」にて公開しております。 「TDnetシステム」にて公開した情報につきましては、ウェブサイトでも速やかに掲示する方針です。 また、適時開示規則に定める重要情報に該当しない情報を開示する場合でも、ウェブサイトを通じて速やかかつ公平に情報が公開されるよう努めます。</p>	<p>3. 沈黙期間に関して 当社は決算情報の資料作成の準備中に株価に影響のある情報の漏洩を防ぐために、決算発表前3～4週間程度を「沈黙期間」として決算に関するコメントや質問に対する回答を控えております。 ただし、「沈黙期間」中に予想と大きく乖離する見込みが生じた場合には、開示規則に従い、適宜公表していく方針です。</p> <p>4. 適時開示体制 東京証券取引所の規定により提出をしている「適時開示に係る宣誓書」及び「適時開示体制概要書（適時開示に係る宣誓書添付書類）」を別途掲載しておりますので、ご参照下さい。</p>
--	--

（当社ウェブページより）



人材こそ最大の経営資源であるという考えのもと、安全・安心な仕事環境作りに取り組んでいます。

労働安全衛生に関する取組み ～安全な職場環境づくり～

基本理念

当社は、従業員が安全に安心して働ける労働環境を整備するべく、社内体制として、中央安全衛生協議会を設け、各支店においてはローカル組織である「安全衛生課」を設置しています。職場における従業員の安全を確保することは、従業員本人とその家族の幸せ、またお客様へのサービス品質の維持・向上にも繋がる重要な取組みです。安全第一主義に徹し、安全が確保された明るい職場環境づくりを推進しています。

安全マネジメント活動の推進 ～全社での取組み～

当社では、現場作業におけるKYM、リスクアセスメント、ヒヤリハット報告などの安全管理を徹底し、現場改善とより安全な職場づくりに努めております。事務部門においても、安全意識の向上と職場改善、業務効率の向上を図るべく、ヒヤリハット報告やeラーニングによる安全教育、リスクマネジメント教育の充実を図っております。また、各地方毎の「安全ブロック会議」と全国会議として「安全衛生課長会議」を開催し、日々の安全活動の情報共有を積極的に行うとともに、課題の洗い出し、目標の設定、安全確保に向けた具体的な行動方針を示し、よりよい職場環境の構築に向け、全社一体となって取り組んでおります。

安全な作業ができる環境と人材作り

「トップ自らが先頭に立った安全活動」の推進として、中央安全衛生協議会を通じ、支店等で新たに考案された安全な作業手順の発表、完全無災害を継続している優良支店への表彰等を行い、全社的な安全への取組みを推進しております。

また、安全な職場の実現には、なにより「ヒトの育成」が不可欠です。そのため当社では、「安全は自ら作る」という考えのもと、各職場の現場力を活かした安全管理やリスクマネジメントの取組みを通じ、各職場において安全活動を積極的に推進できる人材の育成に力を入れております。

AED講習の開催

心肺蘇生やAEDの使い方、けがの手当など、応急手当を習得し事業所等を対象として救命講習を開催しています。大切な仲間の命を守るため、救命講習を受講して知識と技術を学び、安全意識の向上、危機管理意識の啓蒙を行っております。

全店安全衛生会議

当社は、全国の支店から支店長、本部長および安全担当者を集めた全店安全衛生会議を年2回開催しております。

労働災害、自動車事故防止策の確立、作業手順書の共有化を行い、また労働災害につながるメンタルヘルスケアを重視し、従業員が健康でかつ安全に働ける職場環境の構築と無災害の実現を目指しております。



上組中央安全衛生協議会 平成27年全店統一スローガン

『安全は一人ひとりの自覚から
リスクの発見 すばやい対処
みんなが主役のゼロ災職場』

<重点目標>

1. 一人ひとりの安全意識の向上
2. 重大災害・労働災害・交通災害「ゼロ」
3. 車両事故・物損事故の低減
(平成26年比30%減目標)
4. 休業疾病の低減
(平成26年比20%減目標)
5. 職場環境改善の推進

<重点実施項目>

1. 個々の危険予知意識を高め、安全な作業の実施
2. PDCAを活用した作業手順書の見直しと改善
3. リスクアセスメントの活用で、危険の低減・除去の実践
4. プロ意識の徹底と法令遵守による安全運転の実施
5. 生活習慣の改善と定期健診結果による早期治療・予防の実施
6. 職場の6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・整備）の徹底と地域環境への配慮

各支店の安全衛生活動

当社は物流会社としてゼロ災害を目指して日々安全作業に取り組むため、安全衛生活動に力を入れております。

＜各支店における主な安全衛生活動の取組み＞

1. 作業前ミーティング

- ・毎朝始業開始前にアルコールチェック、顔色チェック、一声掛けを実施し各従業員の健康管理の把握をしております。
- ・当日の作業内容を確認するにあたり、作業手順書、ヒヤリハット事例集、KYボード等を活用し、危険箇所を洗い出して、事故防止に努めております。

2. 安全作業への備え

作業を行うにあたり、主に次の内容を注意し、安全作業の徹底を図っております。

- ・作業前に安全服、保護具の正しい着装チェックを指差呼称で行う
- ・安全は業務の基本であることを徹底するため、指差呼称の実践を行う
- ・作業する際は声出しを行い、作業の安全を確保する
- ・フォークリフト運転における前進前後の際、周囲の確認を万全に行い、接触事故防止に努める

3. 安全衛生パトロール

- ・安全衛生パトロールのメンバーは営業、業務、現業部門から選任したメンバーで行います。現業部門以外のメンバーが参加することで、幅広い視野から危険箇所の洗い出しを行い、事故防止に努めております。
- ・毎月重点目標を定め、各チェック項目を基に不安全行動、危険箇所の撲滅に努めております。



KYボードによる作業手順・安全ポイントの確認



指差呼称による対面服装チェック

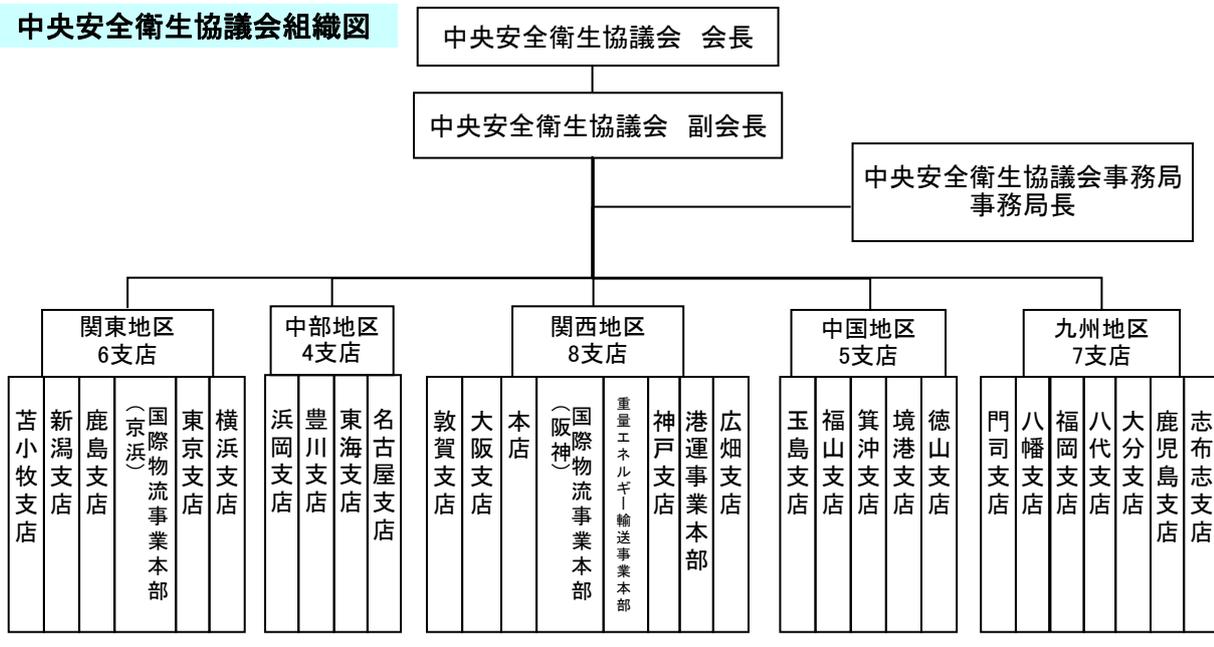


支店安全衛生会議

4. 安全衛生会議

- ・毎月各現場の責任者を中心に安全衛生会議を開催し、各現場の安全衛生活動報告や安全衛生パトロールの重要事項に対する改善報告等を議題に意見交換を行い、事故防止に努めています。会議終了後は現場責任者等から各従業員に指導・教育を行い情報の共有化を徹底しております。

中央安全衛生協議会組織図



輸送の安全に関する基本方針

～輸送のスペシャリストとして～

基本理念

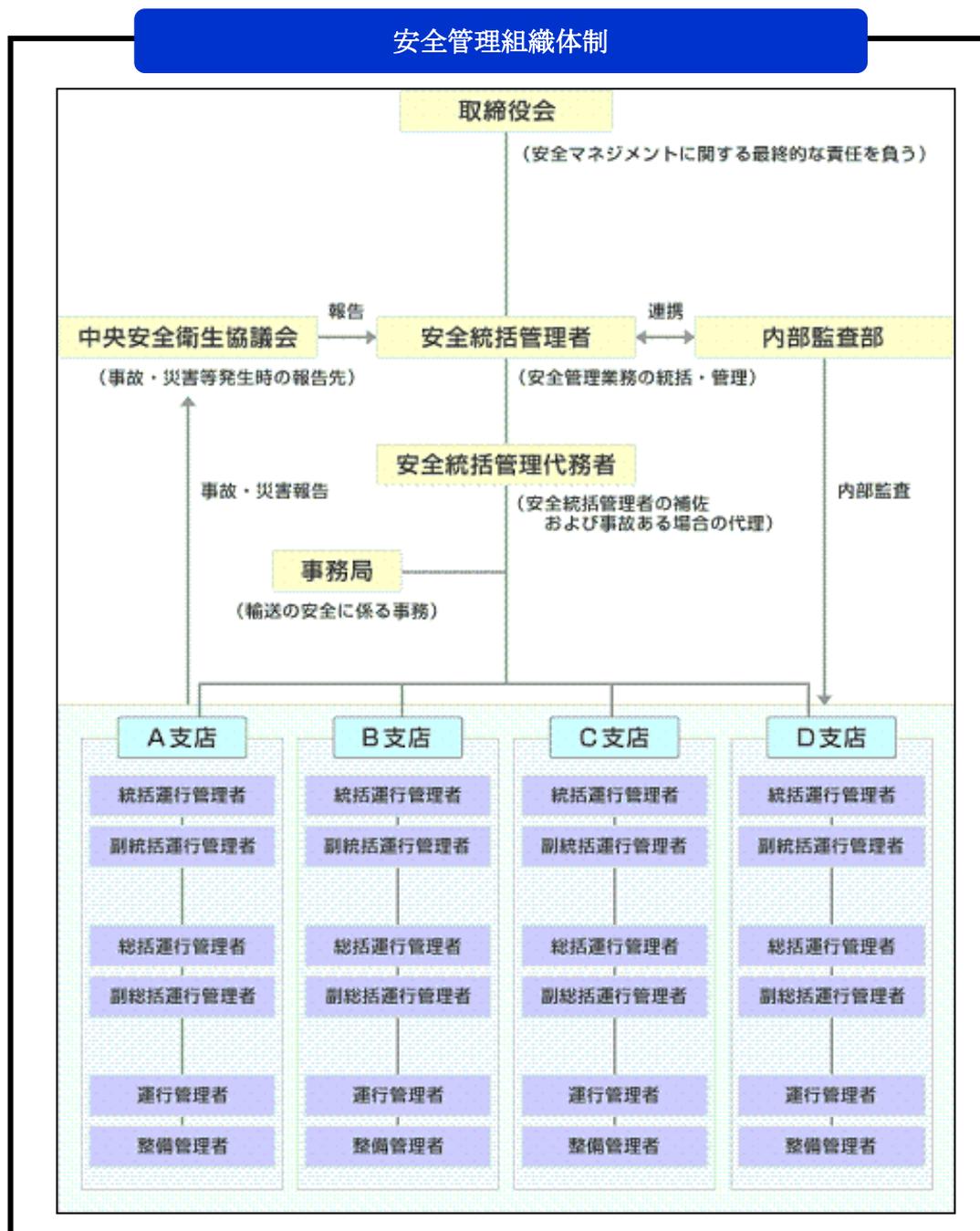
当社は、業界をリードする総合物流企業として、輸送の安全確保が当社に課せられた重大な使命であることを強く認識し、取締役会及び安全統括管理者の主導のもと社内教育や広報活動を通じて会社の安全風土をより強固なものいたします。

また、全従業員が一丸となって共通の目標を設定し、その達成に向け計画的に安全マネジメントを実施することにより着実に輸送の安全を実践してまいります。

基本方針

1. 安全に関する法令等及び社内規則を遵守します。
2. 事業運営にあたって、輸送の安全確保が最優先であることを徹底いたします。
3. 経営トップが主体となって安全マネジメントを実施いたします。
4. 毎事業年度ごとに輸送の安全に関する目標を設定し、目標達成に向けて計画的に安全マネジメントを実施します。
5. 目標の達成状況等を分析し、安全マネジメント体制の継続的な改善に努めます。
6. 本方針及び安全に関する各種規程等は、全従業員に周知するとともに、当社ホームページへの掲載等を通じて広く一般に開示します。

安全管理組織体制



地域での交通安全推進活動への取組み



八幡支店での取組み ～安全週間活動～

2015年5月17日から20日にかけて、支店事務所出入口において「飲酒運転防止・安全運転」をテーマに安全週間における注意喚起活動を実施し、作業・工事現場への連絡時や出社時の交通安全確認・遵守の啓蒙を図りました。

従業員だけでなく、事務所前を通過する他社従業員、一般運転者に対しても、交通安全を呼びかけ、安全活動に寄与することができました。

今後も、定期的に継続して取組んでまいります。



作業・工場現場への連絡時



出社時

門司支店での取組み ～交通安全運動キャンペーン参加～

門司区交通安全推進協議会主催により、福岡県トラック協会および海上コンテナ部会の会員店所である門司支店が当キャンペーンに参加いたしました。

通行車両を側道に誘導し、交通安全を呼びかけるとともに、支店に戻ってからも、従業員に対して改めて交通安全の啓蒙を行いました。



東海支店での取組み ～交通安全推進活動～

出退勤時に、交通三悪撲滅、交通安全に対する意識向上を図る目的で、従業員および通行者へ交通安全・マナーの呼びかけを実施しております。

また、東海警察署および東海安全運転管理協議会の一員として、年4回、全国安全運動期間中に交通安全レディース活動にも参加しております。

今後も、従業員全員の意識向上を図り、交通事故・違反ゼロを目指して活動してまいります。

交通安全呼び掛け

- ・交通事故・違反ゼロでいこう！
- ・シートベルトの着用を徹底しましょう！
- ・一旦停止は停止線でしっかり止まりましょう！
- ・飲酒運転は絶対にやめましょう！
- ・運転中の携帯電話使用は絶対にやめましょう！



交通安全
レディース活動

～交通講話～

交通安全に対する意識向上を図る目的で、東海警察署 交通課長による交通講話を実施し、若年層を中心に約80名が参加いたしました。

危険運転DVD視聴、交通課長による飲酒運転他、悪質交通違反等の講話により、違反の代償、してしまってからでは遅い！と、交通違反撲滅への意識向上に繋がりました。



現場主義に基づき、社会やお客様に貢献する物流プロフェッショナルの育成に取り組んでいます。

明朗な企業風土作りの尊重

当社は、社員一人ひとりの人権を尊重し、差別のない自由闊達で主体性と創造性に富み、自由に発言し合える職場風土の形成に努めます。

また、会社は、従業員の個性を尊重し、キャリア形成や能力開発を積極的に支援するとともに、従業員あってこそその企業の存続であることを忘れることなく、性別、年齢、役職、出身地等で分け隔てすることなく、お互いをともに働く仲間として尊重しています。

プロフェッショナルの育成

当社では、人材育成の基本を「フェアな実力主義の貫徹」とし、実力を伴わない特権を排除し、実力を身につけたい意欲的な人間を支援する風土が育まれております。そのため、若い社員にも積極的に責任ある仕事を任せる等 実践的な人材育成を行い、プロフェッショナルの育成に努めています。

現場主義

ネットワーク環境の発達した現在においても、複雑で多様化するお客様のニーズに的確にお応えするため当社では、「自分の目で確かめ」「自分の耳で聞き」「自分の肌で感じ」「自分で考える」『現場主義』の徹底に努めております。

その結果、現場が主体となってリスクの芽を摘み、日々の業務改善を実践することで、現場の更なる強化につながり、それが、ひいてはお客様へのより良いサービスの提供にもつながると考え、経営幹部も含めこれを日々実践しております。

実際に、2009年度より「社長と社員が思いを共有し一つになる」ことを目的に、社長自らが各地の現地社員との対話を重ね、自ら率先して現場主義を貫くことでより一層全社一丸となった取組みとなるよう努めております。

海外現地従業員 日本研修

近年の急速な国際化の進展に対応するため、2013年4月より、グローバルな人材育成を目的として、当社海外店従業員を本邦へ召集し日本研修を開催しております。

性別、社歴、職種にとらわれず、“意欲ある優秀な人材”、“将来的に大きな成果を期待される人材”を優先的に選定し、各店協力の基、輸出入業務、コンテナターミナルに於ける管理・運営、重量物輸送、3PL、安全教育等 様々な分野で、3ヶ月にわたる研修が実施されます。

国内外の支店、拠点間の綿密な連絡網の構築、また各研修者の基礎スキルの向上に繋がり、当社の海外事業の拡大に貢献できる「ナショナルスタッフ」と成り得る様に研修を進めてまいります。

2014年度は2月17日及び8月16日よりそれぞれ約90日間の研修を実施し、研修終了後には参加者からの研修における成果の発表を行い、今後の糧としております。

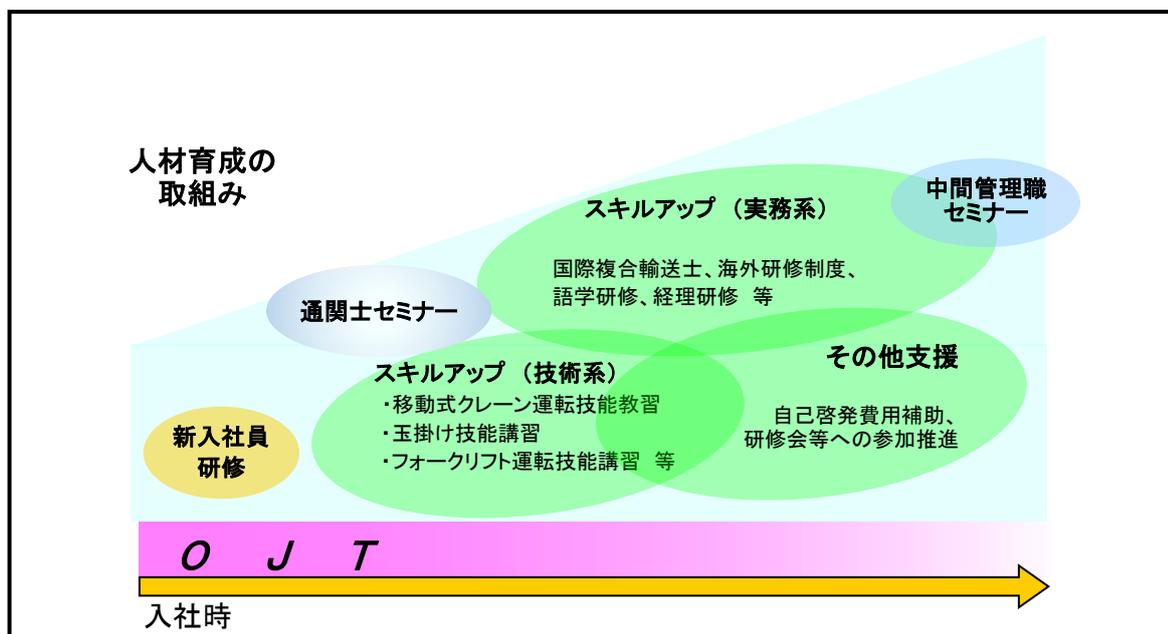


発表風景

通関士の育成(通関士講座の実施)

AEO事業者として、質の高い国際物流サービスを提供するために、輸出入の基本業務である通関業務の強化として、新入社員、2年目の従業員を対象とした通関士講座を開設しております。

実務に従事する前に、当講座を通じて、関税法に触れ、コンプライアンスの精神をもって社会に貢献できる人材育成を実践してまいります。



<p>多種多様な事業を抱える当社では、それぞれの業務および環境に応じたOJTの実施を重視し、机上の空論ではない、より実践的な人材育成に努めております。</p> <p>また、若年層の教育だけでなく、各支店長を対象に管理職セミナーによる教育訓練を実施し、会社経営にかかわる未来のリーダー層の育成にも注力しています。</p>	<p>当社では、様々な職種・部署での業務を経験することで、一人ひとりの職能を向上させ、幅広い視野と多角的な見方で物事を捉え、意欲を向上させていけるよう、ジョブローテーションを推進しております。社員の適性や能力を見極め、適材適所への配置を行うことで、部門間や職場間の人材交流が促進され、社内横断的なネットワークの拡充、コミュニケーションの活発化に繋がっております。さらに相互牽制機能の働きにより馴れ合いが防止されることで健全な職場環境の形成が可能となっております。</p>
<p>当社では、従業員の活躍の場を広げ、資質向上、社内活性化のため、総合職・一般職間のコース選択制度を採用しております。</p> <p>コース選択制度の導入により、従業員の意欲やモチベーションが向上し、また自らのライフサイクルに見合った働き方を選択することが可能となりました。</p> <p>さらに、優秀な人材を確保し適材適所に配置することで、より一層の発展を実現させる制度となっております。</p>	<p>当社では、成長の源は『人材』であると位置づけ、「通関士」や「国際複合輸送士」などの資格取得を目指す社員に対し、費用補助制度をもうけ支援しております。</p> <p>業務に必要な「フォークリフト運転技能講習」「玉掛け技能講習」等 各種講習会への参加や研修制度の利用を積極的に推進しており、社内においても、適宜、勉強会や研修会を開催し、社員の意欲向上をサポートする体制を構築しております。</p>

社会貢献活動への取組み

地域に根ざした企業として社会貢献すべく、地域社会の文化や規範を尊重し、その地域社会の発展に貢献するとともに、その地域に配慮した企業活動を進めてまいります。

企業市民活動

地域社会との調和、協働を通じ、より良い社会の実現に積極的に取り組むため、当社は、地域密着型企业を目指して、さまざまな活動に参加しています。

神戸・みなと体験（第6弾） 市民見学会を開催

2015年8月20日、地元神戸の子供たちに、日本の主要港である神戸港において、物流の知識や港の役割・必要性を直に感じてもらうため、本年も「神戸・みなと体験」と題して、“神戸港の施設を見学しよう！”をテーマに神戸市と協力し、抽選で選ばれた神戸市在住の小・中学生とそのご家族（18組41名、うち当社従業員家族2組6名）にご参加いただきました。

見学ルートは例年通り、午前中は遊覧船「ファンタジー号」に乗船し、海上よりポートアイランドの物流施設を見学、午後から当社の最先端コンテナターミナルがある「PC-18」に移動し、コンテナヤード（KGKT）のメガガントリークレーン等の荷役機械を間近で見学、またKGKTが一望できる上組神戸多目的物流センター（KMDC）の会議室では、物流クイズを交え、コンテナや荷役機器、そしてヤード内における物流の仕組みについて学んでいただきました。

次に訪れた上組ポートアイランド総合物流センター（K-PID：青果棟、加工棟）では、神戸港における輸入青果物（バナナ・パイナップル等）のコールドチェーン（＝低温流通体系）の一端に触れていただき、その後、神戸港国際流通センター（K-DIC）に移動し、毎年大人気の冷凍倉庫でマイナス25℃を体感、そして港湾職業能力開発短期大学校神戸校では、フォークリフトなどの港湾荷役機械を見学しました。

参加されたお子様からの「とても面白かった」「勉強になった」といった喜びの声と共に、保護者の方々からは「いつも食べているバナナがすごい技術や大勢の人の手を介して自分たちの元へやってきていることを実感した」「この経験が子供たちにとって、将来に役立つ、何かのきっかけになってくれれば」との感想が寄せられ、この見学会が将来、子供たちの進路選択の一助となり、ひいては神戸港の発展に繋がることを願っています。

神戸の小・中学生が港における物流の知識や港の必要性を感じ、少しでも当業界に興味・関心を持っていただけるよう、来年以降も引き続き神戸・みなと体験開催を予定しておりますので、社員の皆様も奮ってご参加ください。

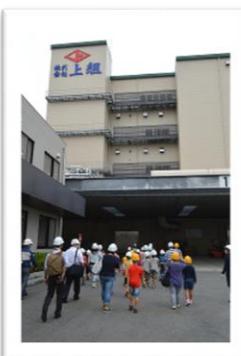


遊覧船「ファンタジー号」前 集合写真

PC-18コンテナヤード見学



K-PID（青果棟）見学



K-DIC冷凍倉庫（マイナス25℃）見学



**神戸港活性化を目的
としたイベントへの参加
(カミックス)**

1868年の開港以来、諸外国の玄関口となり、異文化との交流によって国際色豊かなみなとまち神戸の更なる活性化を目的としたイベント、「第13回こうべみなと祭り」(2014年7月20・21日)、「神戸港夏物語 2014 KOBE MUCIS & GOURMET PORT」(2014年8月23・24日)、「第45回神戸まつり」(2015年5月17日)等に参加し、さつま揚げ、海老カツバーガー、生ビール、焼酎等を取り扱う店を出展いたしました。



**ふくやま港まつり2014
(福山支店)**

2014年11月2日、3日に福山国際ターミナルにて開催された「ふくやま港まつり2014」にて、主催者である福山市に全面的に協力し、リーチスタッカーの展示及びデモンストレーションを行いました。またRTG(タイヤ式トランスファークレーン)等荷役機械を間近で見させていただくことができ、親子連れ等多くの人々の関心を引き付け、好評を得ることができました。



**近隣住民に対する
AED説明会開催(名古屋支店)**

2014年5月24日、近隣住民に対するAED(自動体外式除細動器)の説明会を実施いたしました。地域自治会で「港まちAEDマップ」を作成し、当支店のAEDが記載されること、以前より行っている地域自治会防犯パトロールで、AED使用方法を知らない方が多

くいることから、港消防署に要請し、当支店で説明会を開催いたしました。



説明会開催を通じ、住民の方々から、緊急時の対応について見識を深めることができました、と好評を得ることができました。

**密輸防止
街頭キャンペーン(八代支店)**

2014年5月7日、長崎税関八代税関支署の薬物及び銃器取締強化期間(2014年5月7日～5月31日)において、関係各署と合同で不正薬物・けん銃等の社会悪物品の密輸防止キャンペーンが実施され参加いたしました。

このキャンペーンでは密輸情報提供依頼リーフレット等を配布し、買い物客らに密輸の阻止及び密輸に関する情報提供の呼びかけを行いました。

**消防競技会参加
(福山支店)**

2014年5月21日、JFEスチール(株)様西日本製鉄所福山地区構内にて開催された消防競技会の屋内消火栓の部に参加し、2位という成績を収めることができました。



**自衛消防技術会参加
(大阪支店)**

2014年9月18日、大阪市水上消防署で開催された自衛消防技術競技会に参加し、震災時における初期活動。要救助者に対する救出・救護、AEDを使用した救命措置、消火器及び屋内消火栓による消火を行い、緊急時の対応を学びました。

職場見学会（豊橋支店）

2015年6月11日、地元高校生を招き、輸入車整備事業の見学会を実施いたしました。豊橋港において、輸入車整備事業の位置付けは、23年連続輸入車取扱量日本一が示すように当地区においての主要産業となっております。

見学内容は、座学（当社沿革、輸入車整備事業の業務内容等）、並びに現場見学（ロードテスト・洗車・外観検査等の一連の工程）を行いました。初めて見る輸入車整備工場に生徒からは、「将来このような仕事をやってみたい」、「豊橋でこのような工場があることを初めて知った」、「輸入車の事がよく分かった。将来乗ってみたい」との声を多数頂きました。

今後もより多くの方に、当該事業への関心をもって頂ける様、見学会を予定しております。



職場見学、 体験学習の受け入れ （岩川醸造㈱）

当社子会社の岩川醸造㈱では、地元小中学校の生徒に対して、職場見学や体験の機会を設け、地域社会との繋がりを大切にしております。

小学生に対しては、焼酎がどの様に製造されているのかを当社従業員が説明し、その後、危険を伴わない範囲内で工場見学を実施しております。

また、職場体験学習として中学校から生徒1名を受け入れ、焼酎の充填現場で行われる作業に就いてもらいました。

プルタブ回収活動 （大阪支店）

資源リサイクルによってプルタブが車椅子に交換されることを従業員に周知し、支店各事業所にプルタブ回収BOXを設置して回収活動を行っております。平成21年から合計13.5kgを一般社団法人環公害防止連絡協議会に送付しプルタブ回収活動に協力しております。



玉掛競技会参加 （広畑支店）

2014年4月16日、新日鐵住金㈱様広畑製鐵所構内で開催された第4回玉掛競技会に参加し、優勝という成績を収めました。

職場体験活動

「トライやる・ウィーク」 （広畑支店）

2014年6月3日、兵庫県内の中学2年生を対象に実施されている職業体験活動「トライやる・ウィーク」を当支店倉庫にて実施いたしました。

貨物の保管作業やコンテナからの貨物取り出し作業等の説明を行い、またマイナス20℃の冷凍倉庫を体験してもらい、物流倉庫の魅力を学んでもらうことができました。

インターンシップの 受け入れ（境港支店）

2015年6月17～19日の3日間、地元高等学校の要請を受け職場体験を実施いたしました。担当者が貨物について説明をしながら倉庫内を案内し、バン出し作業中の25kgの紙袋を実際に持って重さを体感してもらったり、普段立ち入ることのできないコンテナ船荷役を間近で見てもらい最終日にはガントリークレーンのオペレータールームに昇って高さを体験してもらいました。

あまり馴染みのない港灣の作業を実際に体験しすることで、興味を持ってもらうことができました。

カッターレースへの参加

「カッター」と呼ばれる手漕ぎボートによるカッターレースは、港町・神戸市主催のイベント。港で働く人々や市民にとって親しみやすい港創りを目的に「神戸まつり」の一貫として毎年開催されています。

当社からは有志による代表男子チーム「上組ダイナマイツ」（過去1997年、2002年優勝）と女子チーム「上組ラビッツ」が出場し、神戸の海を疾走。港町ならではのスポーツイベントにも、参加しております。



タイ、カンチャナブリ地区での支援活動 (海外統括支社)

2015年3月14日にバンコクより東に250kmにあるカンチャナブリ地区のミャンマー国境農村の小学校に対して他3社との合同で教育・生活品の寄付・支援活動を行いました。当社内では、スタッフにより事前に寄付集めを行い、当日は6名のスタッフが小学校での記念行事、寄付品贈与式に参加しております。今後も継続していく計画を立てております。

場所：Krity Lang School
Thong -Pa-Poom, Kanjanaburi

1. Folding Table	THB 15,400
2. Rice	THB 11,000
3. Consumables	THB 15,155
4. Lunch	THB 6,000
5. Separate prizes, games and gifts	THB 3,000
6. The system Plumbing	THB 55,765



ミャンマー港湾公社職員の日本研修 (海外事業戦略本部)

国土交通省主導でミャンマー港湾局職員を本邦へ招聘し、ターミナル運営事業並びに専門知識、技術力向上の支援活動として、2014年8月上旬から11月上旬にかけて、一般財団法人国際臨海開発研究センター（OCDI）、一般財団法人海外産業人材育成協会（HIDA）、独立行政法人国際協力機構（JICA）が主催として行うターミナル事業を中心とした日本研修に、国内外でのターミナル運営実績がある当社も協力要請を受け、協力実施いたしました。



国際臨海開発研究センター（OCDI）
主催の研修開校式

A decorative arrangement of clover leaves in various shades of green and one red heart-shaped leaf, located in the bottom-left corner of the page.

環境とのつながり 地球と共に。

上組グループは、
総合物流コーディネーターの
プロとして、環境に配慮した、
「地球にやさしい物流サービス」を
提供します。

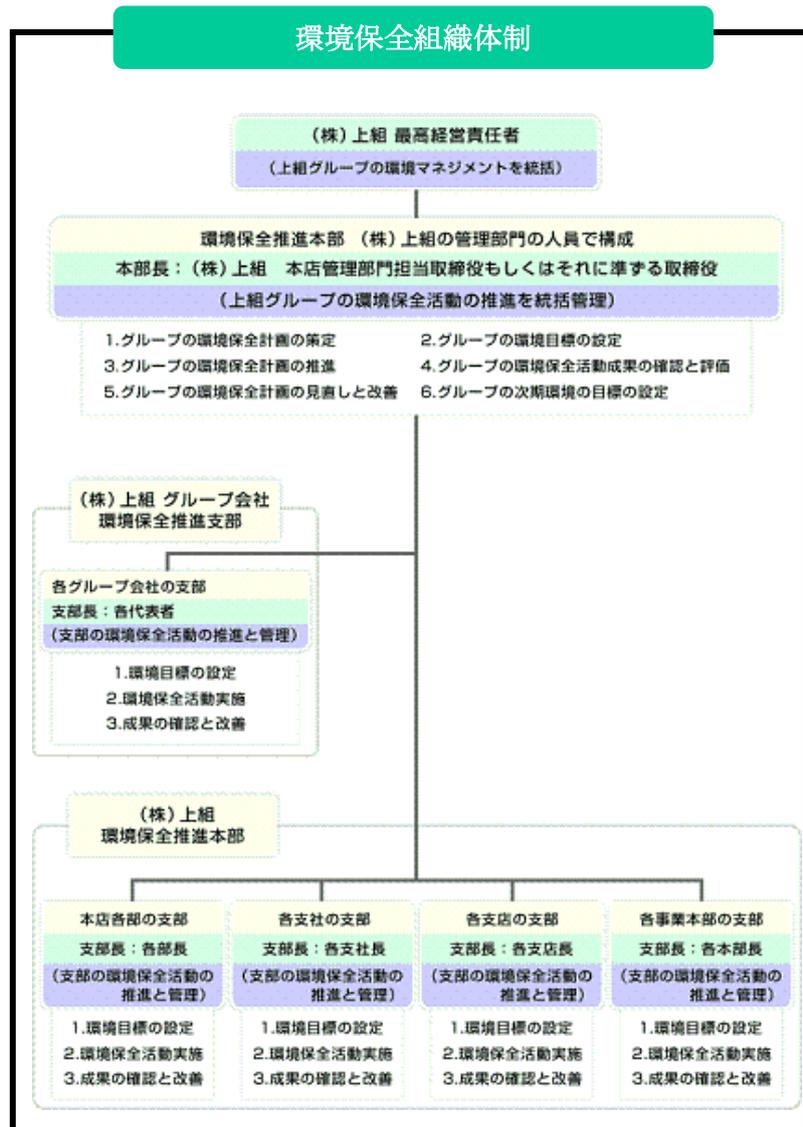
環境理念

当社は、地球環境の保全が人類共通の重要な課題であるとの認識のもと、
事業活動と環境保全の調和を志向し、
環境に配慮した事業活動の実践による環境負荷の低減に努めるとともに、
グループをあげて継続的な環境保全活動を推進し、
社会への貢献を目指してまいります。

環境方針

当社は、物流事業者として、輸送の効率化やモーダルシフト等を推進し、地球環境にやさしい総合物流サービスの提供に努めるなど、以下の方針に基づく環境マネジメントを実施いたします。

1. 環境関連の法令、条例及び規制などを遵守し、地球環境の保全に努めます。
2. 省資源、省エネルギー、リサイクル、再利用、廃棄物の削減と適正処理および汚染物質の排出抑制を推進し、限りある天然資源の有効活用と環境汚染の予防に努めます。
3. 環境負荷の低減を目指して、事業活動が地球環境に与える諸々の影響に配慮した環境目標を設定し、目標達成に向けた環境保全活動を計画的に推進するとともに、当該活動の定期的な見直しによる継続的改善に努めます。
4. 環境問題に関する教育、指導および社内広報活動などを通じて、従業員の地球環境の保全に対する理解の促進と意識の高揚を図るとともに、環境保全活動への参加意識を高め、円滑な環境マネジメントの推進に努めます。
5. 本環境方針は、当社ホームページに掲載するなど、広く一般に公開します。



物流事業者としての使命

当社は、輸送、保管、荷捌きおよび流通加工を総合的に実施する物流事業者として、環境負荷の低減を目指し、お客様との協調を図りながら、流通業務の総合化および効率化の促進に対応すべく、輸送網の集約、輸配送の共同化、貨物積載率の向上ならびにモーダルシフト等の推進と環境に配慮した物流拠点施設の整備、新設に努めております。

3PL事業の推進

当社は、港湾物流業 最大手の実績と充実した物流ネットワークを活かした「サード・パーティー・ロジスティクス」(「3PL」) 事業を推進しております。

陸海空の輸送を合理的に組み合わせ、お客様の物流コストを削減するのはもちろん、お客様のあらゆるニーズに応え、物流を総合的にコーディネートすることで、物流拠点の集約化や業者間の輸送回数を減少させ、物流品質の向上だけでなく、環境負荷低減に貢献いたします。

モーダルシフト等の推進

一般に、輸送量が増加すると二酸化炭素の排出量も増加します。景気の動向等による輸送量の増減に左右されず二酸化炭素排出量の削減を確実にするためには、輸送効率を向上させることが重要です。

当社は、総合物流事業者として、お客様のご要望に則した最適なロジスティックシステムを構築し、従来のトラック主体の輸送に、内航船および鉄道による輸送を合理的かつ効率的に組み合わせたモーダルシフトや輸送貨物量に応じた輸送機器・車両の大型化を推進し、環境負荷低減に努めてまいります。



航空輸送

東京・名古屋・関西の各国際空港に当社グループの航空輸送フォワーダー会社を配備し、お客様のニーズに合わせ、グローバルな航空輸送を提供いたします。



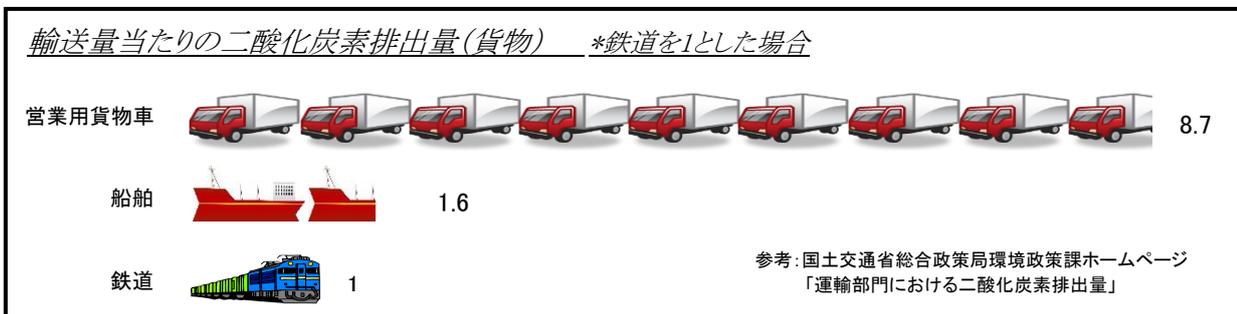
鉄道輸送

鉄道輸送の利用運送事業許可も保有する当社。モーダルシフトによる環境対応輸送サービスをご提案いたします。



海上輸送

海上輸送を中心に異なる輸送モードを組み合わせ、ドア・ツー・ドアの国際複合一貫輸送を実現。また、国内輸送においては日本中を網羅するフィーダー・ネットワークを構築しております。



廃棄物の排出抑制、適正処理及びリサイクル等の推進

当社では、環境保全規定において『廃棄物の排出抑制、適正処理及びリサイクル等の推進』を定め、環境負荷の低減に努めております。

限りある天然資源を有効活用するため、事業活動で生じたストレッチフィルム・ダンボールやフレキシブルコンテナ等 廃棄物の仕分けを徹底し、適正に処理し、リサイクルや再利用の推進に努めております。

港運事業本部 「上組神戸多目的物流センター(KMDC)」

当センターでは、廃プラスチックや廃棄木材は再生業者に搬入し、燃焼せずにチップとして加工材料に再生することで CO2削減に貢献しています。

ゴミの分別はもちろん、再生紙を利用し、紙・段ボール等についても基本的に廃棄せず、回収業者に引き取ってもらうことでリサイクルの推進に貢献しています。



当社は、事業活動が地球環境に及ぼす影響を考慮し、従業員に対する環境教育や広報活動を通じ、従業員一人ひとりの環境に関する知識や意識の向上に努めております。

車両に係わる環境保全

エコドライブの推奨

当社において「車」は大事なビジネスパートナーです。

当社では、環境保全規定を策定、環境負荷の低減及び省エネルギーの観点から「エコドライブ」を推奨・実践しております。従業員の環境に対する意識の向上による、車両事故件数の低減に努めております。

車両の点検整備および運行管理状況

当社は、所有または使用管理する車両の確実、適切な点検整備により、大気汚染物質の排出量を適正な状態に保つよう努めております。

また、省エネ機器（デジタコ等）の導入等により、車両の運行状況管理、分析を行い、貨物積載率の向上、空荷走行の減少、走行距離の最小限化に努め、環境負荷の低減、省エネルギー対策の継続的な改善を図っております。

低公害・低燃費車の導入

当社は、新たな車両の導入、現有車両等の代替、廃車などについて、ハイブリッドカー等環境負荷の少ない低公害車や低燃費車の導入に努めていきます。

(エコドライブの方法)

1. アイドリング・ストップを励行する。
2. 経済速度で走行する。
3. 急発進、急加速を行わない。
4. マニュアル車は早めにシフトアップを行う。
5. エンジンブレーキを有効に活用する。
6. 無駄な空ぶかしを行わない。
7. 無駄な駐停車を行わない。
8. 無駄な荷物を積まない。
9. エアコンの使用は控えめにする。
10. 走行距離が最小限になるよう努める。
11. 点検整備を確実にし、かつタイヤの空気圧を適正に保つ。

当社の「環境保全規定」より抜粋
第2章 車両に関わる環境保全
第1節 エコドライブによる環境保全

TOPIC

地球環境にやさしい荷役機器の導入

(福山支店)

2014年11月、JFEスチール(株)様より当支店が請け負う鋼管ハンドリング作業において、新たにハイブリッド型のトランスファークレーンを導入しました。

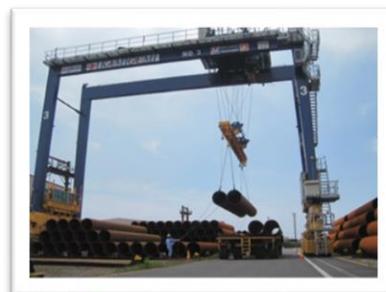
このハイブリッド型のトランスファークレーンは、吊り上げたパイプを降ろす際にワイヤードラムの回転で発生させたエネルギーをリチウム電池に蓄え、クレーン巻上げや走行時の動力源として利用することで、燃料消費量と排出されるCO₂を大幅に削減、また、エンジン発電機稼働時の騒音も低減することができます。

現在、ハイブリッド型トランスファークレーンを1台導入しておりますが、今後、既存の2台、また他の重機・車両につきましても更新時等、“地球環境にやさしい機種”の検討を行ってまいります。

《削減効果》

CO₂ 排出量削減 従来型に比べ 約60%削減
(約 ▲50 t / 6か月)

燃料消費量削減 従来型に比べ 約40%削減



(写真) 上：パイプ積込作業

下：JFEスチール(株)様 西日本製鉄所笠岡製品岸壁での陸揚げ

メガソーラー（大規模太陽光発電所）事業への取組み

当社は、再生可能エネルギーによる地球環境負荷低減のため、自社倉庫の屋上や遊休地といった余剰スペースを活用したメガソーラー事業に取り組んでおります。

神戸港の自社倉庫屋上を活用した太陽光発電は神戸市内で民間企業としては初のメガソーラー。自社倉庫の屋根を活用することで初期投資を削減できるだけでなく、パネル設置倉庫は遮断効果により倉庫自体の節電も可能です。

将来的に発電能力12MW（メガワット）を目標として取組みを進めるとともに、売電事業の増強にも積極的に取組んでまいります。

オフィス照明の照度ダウン・減灯LED照明の採用

電力使用量を削減するため、エアコン設定温度の調節や使用制限に加え、業務に支障のない範囲で、オフィス照明の照度ダウンや電灯の間引きによる減灯、更に昼休み時の消灯、倉庫不使用時の消灯などを徹底して行っております。

また、オフィスや当社保有の倉庫においても、順次LED照明への切り替え、人感センサーの設置を積極的に行っており、例えば当社保有の上組空港島ロジスティックセンターのように、LED照明や省エネ効率の高いエアコンなどの機器を設計時より導入し、節電効果の高い、そして環境負荷低減に寄与する倉庫作りを推進しております。



上組神戸多目的物流センター



上組ロジスティックセンター



大分県横尾発電所



上組神戸空港島ロジスティックセンター（KALC）

2アップ3ダウン運動の推進

当社では、省エネ対策の一つとして「2アップ3ダウン」運動を実施しており、上りは2階分、下りは3階分の社内移動の際には、積極的に階段を利用するようにしています。

エレベーター使用抑制による節電に加え、従業員の健康増進にも繋がっております。

TOPIC

グリーンカーテンには「パッションフルーツ」を！（大分港運株）

当社グループの大分港運株では、従来のゴーヤのグリーンカーテンを「パッションフルーツ」にかえ節電対策に取り組んでおります。

「パッションフルーツ」は成長がとても早く、みるみる葉を茂らせ、すばらしい木陰を作ってくれる上に、テニスボールを少し小さくしたくらいの実まで収穫できます。更に、手間をかけなくても寒い冬を越し、見事なグリーンカーテンを復活させてくれます。

西向きに建てられた事務所への非常に強い西日が、夏場の事務所内温度の上昇、電力消費量の増大に影響していましたが、このグリーンカーテンによって省エネと涼しさを味わいながら、社業に励んでおります。

（写真） 上：パッションフルーツの花 中：パッションフルーツの実
下：パッションフルーツのグリーンカーテン





**東海市21世紀
森づくり活動への参加
(東海支店)**

東海市主催「21世紀の森づくり活動」に参加し、市民と共に「ふるさとの森づくり」を目指し、苗木の植樹活動を実施いたしました。



**地域花壇の花植え
(広畑支店)**

広畑地域では、国道沿い並びに夢前川の河川敷約2kmに渡り花壇が設置されており、地元企業と地域自治会で花植えを年3回実施しております。花植えの時期には花の運搬、配付もしており、2014年6月8日には、支店事務所前の交差点花壇と夢前川河川敷花壇に花植えを行い、日々草、サルビア、マリーゴールド、ベゴニア 併せて約4,000株をトラックで運搬し、自治会、地域会社、小学校、幼稚園に配布いたしました。



**クリーンアップ大分
(大分支店)**

大分支店事務所周辺地域の社会貢献活動として、「クリーンアップ大分」を開催しております。従業員の家族や地域住民の方々も自主参加いただき、総勢約240名となりました。毎年回収されるゴミの量は、200kgを越える程でしたが今年は200kg未満と例年に比べ減少傾向となりました。



**「リフレッシュ瀬戸内」
への参加**

2015年6月28日、瀬戸内の海や海岸を守るため、瀬戸内全域で一斉に清掃を行なう「リフレッシュ瀬戸内」に参加いたしました。今年度も、自治会、飾磨港美化協会、姫路市及び兵庫県からも多数参加され大規模な清掃活動となりました。

**清掃ボランティア
(横浜支店)**

2014年6月21日、「豊かな都市環境と住みよい生活環境づくり」を目指して発足した市民団体主催の清掃美化活動事業と、横浜市中区ボランティアセンターのボランティア発掘・育成プロジェクト事業の協働企画である、山下公園の清掃ボランティアに有志15名で参加いたしました。

**清掃活動
(港運事業本部)**

神戸商品センターでは、毎週金曜日の朝礼後、課員全員で倉庫周辺および近隣道の清掃活動を行っております。活動している姿を見せることにより、センター周辺で路上駐車している車両からのポイ捨てゴミを減らすことができました。



**事務所周辺道路
清掃 (鹿島支店)**

毎週月曜日の朝礼前に、事務所周辺の道路清掃を行っております。車道、歩道のごみの除去、除草、また受付窓口に「ポイ捨て防止」を掲示しており、貨物の引き取り運転手等の道路へのポイ捨てが減少しました。

**神戸空港島 清掃活動
(国際物流事業本部)**

神戸空港島では「日本一きれいな空港島」を目標に、2014年2月より、空港島に拠点のある企業から人手を出し毎月第2水曜日の14:00～14:30に任意の区域で清掃活動に取り組んでおります。当社社員のみならず、現場作業に入っている協力会社にも趣旨に賛同いただき、センター前の公道清掃を行っております。

森の世話人活動

当社の経営理念である『豊かな社会の実現』に向け、国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所の推進する「六甲山系グリーンベルト整備事業」に参加しており、神戸市内にある国有林の一部を「うさぎの森」と命名し、災害に強い自然豊かな森づくりを目指し、植林活動や森林管理を行っております。



**ISO14000取得
(名古屋支店)**

生産体制や環境管理のシステム、保全体制など、特に環境を対象とした規格、「ISO14000」を取得し、事業活動に伴う環境悪化を引き起こさないよう、毎月自己点検等を実施しております。



2015 CSR報告書

発行日 : 2015年9月
発行元 : 株式会社 上組

株式会社 上組

〒651-0083 兵庫県神戸市中央区浜辺通4丁目1番11号
URL <http://www.kamigumi.co.jp>